

館腰公民館改築（外構）工事

仕 様 書

宮 城 県 名 取 市

1. 工事名称
館腰公民館改築（外構）工事
2. 工事場所
植松三丁目 135-1 他
3. 工事内容
館腰公民館改築工事（鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造、2階建て、
延べ面積約 1106.50 m²）の外構工事一式
4. 工事範囲
本工事の対象範囲は本仕様書及び設計図に示す範囲とする。
5. 別途工事
館腰公民館改築工事
6. 特記事項
児童センター及び小学校近接地での工事であり、児童の通学時及び近隣への
安全対策については万全を期すこと。
また、「4」記載の別途工事との安全対策等を含めた調整を図ること。
7. 工事期間
契約締結の翌日から令和8年12月15日までとする。
8. 入札日時・入札条件・契約条件・設計図書等に関する質問等
『入札通知』による
9. 設計図書

本仕様書	1 式
設計図	1 部（表紙共 全16枚）
現場説明事項書	1 式
10. 設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は、原則として次のとおりとする。
 - 第1位 現場説明事項書及び質問回答書
 - 第2位 仕様書
 - 第3位 設計図
 - 第4位 共通仕様書（当該年度における最新版）
国土交通大臣官房官庁営繕部監修「標準仕様書」、「工事監理指針」
 - 第5位 公共規格及びこれに準ずる規格
11. 工事計画及び施工図
施工計画書・各種工事の施工図は事前に提出し、監督員の承認を得た後に施工すること。
12. 官公署への手続き
工事の施工に必要な官公署・その他への手続き・届出等は速やかに行い、それに伴う費用は全て請負者の負担とする。ただし、確認申請等の完了検査の手数料は名取市負担とする。

13. 設計変更等

仕様書・設計図等に食い違いがあった場合は、速やかに監督員に報告、協議すること。

14. 工事の安全対策

- (1) 工事にあたり第三者・隣地並びに公道等に損傷を与えぬよう、十分配慮すること。
重機搬入搬出や産業廃棄物搬出経路を定め、工事安全に十分努めること。万一損傷を与えた場合は、請負者の責任と金銭負担において速やかに補償、または原形復旧すること。
- (2) 請負業者は労災・火災その他の賠償責任保険等に加入することとし、写しを市へ提出すること。
- (3) 工事の安全対策、車両進入等他にも十分注意すること。

15. 現場組織の編成

- (1) 請負者は本工事を行うにあたって、十分な現場組織を編成しなければならない。
- (2) 工事の現場代理人及び主任技術者は、関係法令に定める資格を有し、現場代理人の経験があるものとする。

16. 検査

- (1) 完成検査は、自社において所定の検査を完了した後、名取市の完成検査を受けるものとする。
- (2) 工事完了後に、名取市が何らかの理由で検査・試験・測定等を行う場合、会計検査を受ける場合等において請負業者はこれに協力すること。

17. 工事現場における注意事項

- (1) 事前調査
工事に先立ち施設等の事前調査を密に行い、後日問題が生じないよう配慮すること。
また、配管配線等の位置、構造、老朽度を調査確認し支障のあるものについては、保安・維持に努めること。なお、これに要する費用は本工事に含むものとする。
- (2) 苦情等の処理
工事による苦情・建物の損傷・その他の問題が生じた場合は、全て請負者の責任において補償すること。
- (3) 労働者への安全対策
労働者への労働災害防止と安全衛生を図るため、始業時に朝礼、ミーティング等を行い、労働者の安全への意識向上に努めること。
- (4) 下請業者
本工事請負者は、地元名取市内から下請負者等の採用について十分配慮すること。
なお、下請負者等は市の承認を得た後決定すること。
- (5) 請負者および下請負人等が、暴力団および暴力団関係者による不当介入を受けたときは速やかに市に報告、警察に通報を行うとともに捜査上必要な協力を行うこと。

18. 現場代理人の常駐義務緩和について（名取市ホームページ参照のこと）

- (1) 本工事は、現場代理人の常駐義務の緩和措置についての該当工事である。
- (2) 現場代理人が兼務する場合は下記のとおりとする。
 - ・工事担当課に届出書を提出すること
 - ・兼務する工事は名取市が発注する工事であること。
 - ・工事現場の相互距離は自動車で行き可能な経路で10km程度までとし、工事現場の運営及び安全管理等に支障が無いこと。

19. 積算基準・設計単価

本工事の積算基準及び設計単価は令和8年4月のものとしている。

20. 週休2日モデル工事の適用の有無

本工事は、週休2日モデル工事の「対象外」である。

実施困難工事の理由：工程上制約があり、モデル工事に適さないと判断されるため
(公民館開館予定時期令和9年3月)

21. 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

- (1) 作業不能日数：2日間
- (2) 上記(1)は、環境省が公表する最寄り観測地点(仙台)におけるWBGT値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(令和3年から令和7年まで)について、本工事の工期に対応する期間(行政期間の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したもの。
- (3) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する観測地点におけるWBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が上記の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第 26 号 館腰公民館改築（外構）工事

参考金抜き設計書

【 取扱上の注意事項 】

本設計書に記載されている数量は参考数量であり、本設計書は工事請負契約に記載されている設計図書には含まれない。

宮 城 県 名 取 市

名 称 : 館腰公民館改築(外構)工事

円 (消費税除く)

一金

円 (消費税含む)

費 目	工 種	種 別	細 別	数 量	単 位	単 価	金 額	明 番	摘 要
直 接 費				1.00	式				
共 通 仮 設 費				1.00	式				
現 場 管 理 費				1.00	式				

宮 城 県 名 取 市

費 目	工 種	種 別	細 別	数 量	単 位	単 価	金 額	明 番	摘 要
一 般 管 理 費				1.00	式				
工 事 価 格				1.00	式				
消 費 税 額				1.00	式				10%
合 計									

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位		備 考
2.	舗装					
	直接仮設	構内舗装	1572	m ²		
	すきとり		343	m ³		
	発生土運搬	ダンプトラック10t積級 DID区間有り バックホ0.8m ³ 11.0km以下	343	m ³		
	発生土処分	場外搬出	343	m ³		発生材処分費
	アスファルト舗装	A50 路盤厚150 RC-40 一般用	1510	m ²		
	アスファルト舗装	A50 路盤厚150 RC-40 カラー	19.3	m ²		
	コンクリート洗い出し舗装	C150+10 捨てコン50路盤厚100RC-40	42.8	m ²		
	地先境界ブロック	W120	39.9	m		
	視覚障害者用ブロック	300角×厚60 注意喚起 敷砂厚30 路盤厚100	0.6	m ²		
	視覚障害者用ブロック	300角×厚60 誘導 敷砂厚30 路盤厚100	5.9	m ²		
	白線引き	W300	59.7	m		
	白線引き	W100	360	m		
	白線引き	W100 ゼブラ部	42.6	m		
	白線引き	車椅子マーク	2.0	か所		
	白線引き	ゆずりあい駐車場マーク	1.0	か所		

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位		備 考
	塗床	無機系速硬防滑薄膜塗型床材	49.3	m ²		
	床コンクリート直均し	金ごて 塗床下地	49.3	m ²		
	床コンクリート直均し	刷毛引き	29.1	m ²		
	土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工)	2.0	往復		
	(土間コンクリート)					
	再生砕石	RC-40	8.9	m ³		
	捨てコンクリート	Fc-18N/mm ² S-15cm	3.4	m ³		
	コンクリート打設手間	捨てコン 人力打設	3.4	m ³		
	異形鉄筋	SD295 D10	489	kg		
	異形鉄筋	SD295 D13	77.5	kg		
	スクラップ 控除	H2	-15.3	kg		
	鉄筋加工組立	RCラーメン構造	545	kg		
	鉄筋運搬費	4t車	545	kg		
	普通コンクリート	Fc-21N/mm ² S-15cm	12.0	m ³		
	コンクリート打設手間	土間コンクリート ポンプ 圧送	12.0	m ³		
	コンクリートポンプ 圧送	50m ³ /回未満	12.0	m ³		

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位		備 考
3.	雨水排水					
	根切り	つぼ、布堀り	102	m3		
	埋戻し	B種	65.4	m3		
	発生土運搬	ダンプトラック10t積級 DID区間有り バックホウ0.8m3 11.0km以下	36.9	m3		
	発生土処分	場外搬出	36.9	m3		発生材処分費
	再生砕石	RC-40	3.4	m3		
	集水柵	600角×H390 2次製品 砕石厚100共	4.0	か所		
	集水柵	600角×H450 2次製品 砕石厚100共	4.0	か所		
	集水柵 グレーチング蓋	600角 T-20	8.0	か所		
	雨水柵	450角×H450 2次製品 砕石厚100共	20.0	か所		
	雨水柵 グレーチング蓋	450角 T-20	20.0	か所		
	U字溝	U-240	184	m		
	U字溝 グレーチング蓋	W240 T-20 鋼製	26.1	m		
	U字溝 コンクリート蓋	W240 3種	158	m		

名 称		規 格・寸 法	数 量	単 位		備 考
5.	雑工作物					
	根切り	つぼ、布堀り	56.4	m ³		
	埋戻し	B種	41.8	m ³		
	発生土運搬	ダンプトラック10t積級 DID区間有り バックホ0.8m ³ 11.0km以下	14.6	m ³		
	発生土処分	場外搬出	14.6	m ³		発生材処分費
	車止め	W600×H120×D200 反射鏡付・アンカー止め 既製品	77.0	か所		
	避難所表示看板	W1094×H2000	1.0	か所		
	広告板	W1894×H1975 強化ガラスt5 マグネット(ホワイトボード)共	1.0	か所		
	避難所表示看板基礎	500×500×500×2か所	1.0	か所		
	広告板基礎	1000×1000×800×2か所	1.0	か所		
	チェーンゲート	バリカー(上下式)3本1組 チェーンL5300/2 砕石・コンクリート共	1.0	か所		
	チェーンゲート	バリカー(上下式)3本1組 チェーンL4600/2 砕石・コンクリート共	1.0	か所		
	チェーンゲート	バリカー(上下式)3本1組 チェーンL4500/2 砕石・コンクリート共	1.0	か所		
	駐輪場上屋	W5100×D4700 両面タイプ	1.0	か所		
	駐輪場上屋基礎	1700×1000×500×2か所	1.0	か所		
	地盤改良	H1350 浅層改良	17.5	m ²		
	カーポート	W5350×D8400 柱脚H4138.8×Φ213.5×5本	1.0	か所		

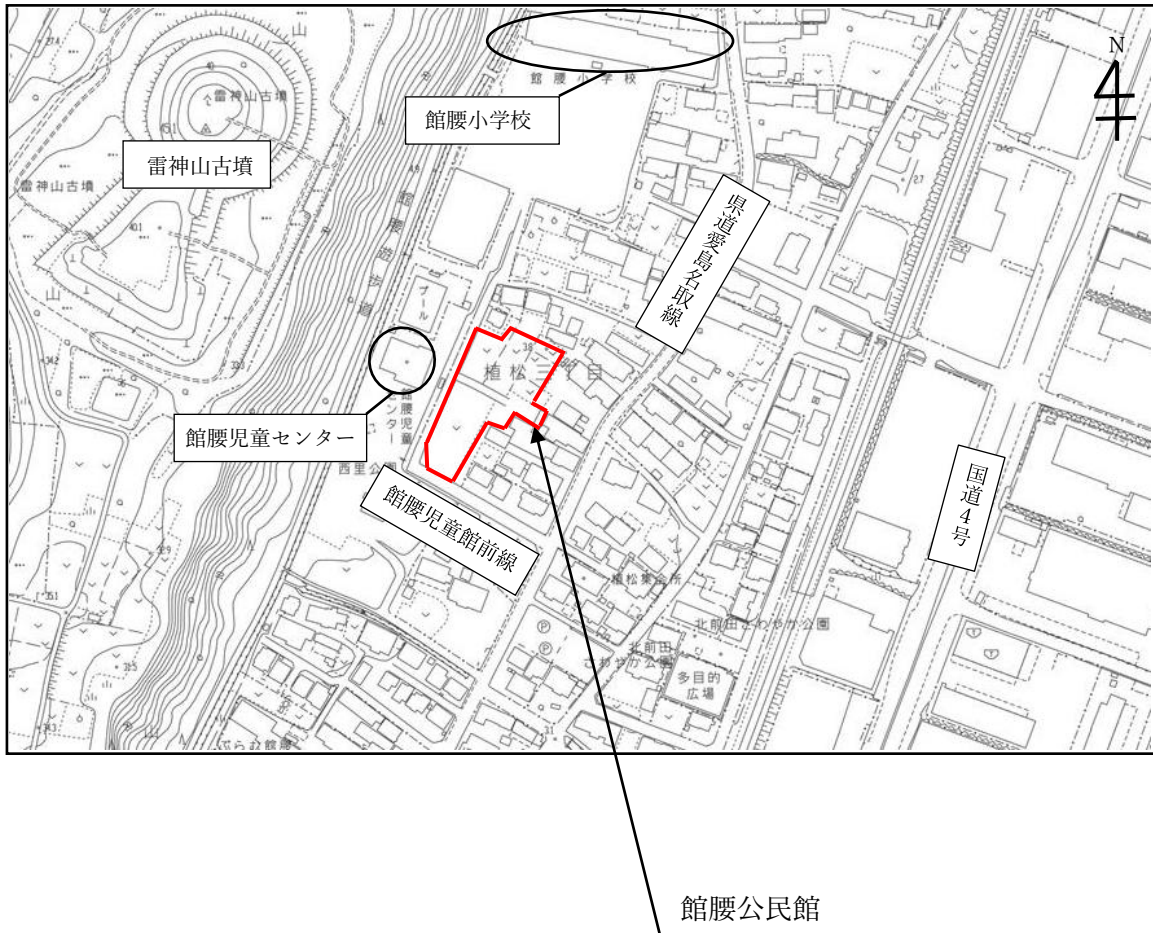
(科目別内訳)

	名 称	形 状 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Ⅲ	屋外						
1	構内配電線路設備						
	(1). 外灯						
	ケーブル	EM-CE3.5° -3C 管内	24.0	m			
	ケーブル	EM-CE3.5° -3C FEP管内	192.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5° -3C 管内	2.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5° -3C FEP管内	31.0	m			
	電線管	G28 露出	18.0	m			
	電線管	FEP30 地中	222.0	m			
	地中埋設シート	2倍長	199.0	m			
	照明器具	G1G LSS1MP/RP-4-22LN	3.0	個			
	照明器具	G1G用カバー	3.0	個			
	照明器具	Q1 ホール灯	10.0	個			
	照明器具	Q2 ホール灯	2.0	個			
	外灯基礎	500×500×1400	12.0	基			
	ハンダホル	H1-9-R8K-60	1.0	基			
	地中埋設標	鉄製	8.0	個			
	プルボックス(SUS製・防水型)	150×150×150 ET付	2.0	個			

(科目別内訳)

名 称	形 状 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	バックホウ 0.13m ³	33.8	m ³			
埋戻し	バックホウ 0.13m ³	33.8	m ³			
バックホウ運転	0.13m ³	2.0	日			
計						

位置図



工事名：館腰公民館改築（外構）工事

工事場所：名取市植松三丁目 135-1 他

建築工事特記仕様書【令和6年4月版】		8. 建築材料等		9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定		10. 特別な材料の工法		11. 建築基準法による風圧力等の指定		12. 設計G.L.		13. 技能士																																																																																																									
<p>I 工事概要</p> <p>1 工事番号・名称 館腰公民館改築（外構）工事</p> <p>2 工事場所 宮城県名取市植松三丁目135-1、135-2、137-1、143-2、143-3、144-2、151-1、151-3</p> <p>3 用途地域等 都市計画区域 〇 内 ・ 外 用途地域（第一種住居地域） 防火地域等（防火 ・ 準防火 ・ 指定なし 〇 2 2 条） その他の地域・地区（ ）</p> <p>4 主要用途 集会場</p> <p>5 敷地面積 2,857.88㎡</p> <p>6 工事の概要 外構工事（電気工事（外灯）含む）</p> <p>7 別途工事</p> <p>8 その他</p> <p>9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。 ・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 解体工事特記仕様書 〇 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書</p>		<p>材料の品質等 (1.4.2)</p> <p>本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>環境への配慮 (1.4.1)</p> <p>本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。</p> <p>ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の場合の建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p>		<p>※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9)</p> <p>試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所定める仕様により行う。</p> <p>測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド（濃度指針値 100 μg/m³ ・ 0.08ppm） ※ フォルムアルデヒド（濃度指針値 220 μg/m³ ・ 0.05ppm） ※ トルエン（濃度指針値 260 μg/m³ ・ 0.07ppm） ※ キシレン（濃度指針値 3,800 μg/m³ ・ 0.89ppm） ※ ベンゼン（濃度指針値 200 μg/m³ ・ 0.05ppm）</p> <p>測定する室等：（事務室、ホール、会議室、研修室1）</p> <p>採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。</p> <p>測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を1部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数） c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器</p> <p>測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p>		<p>※ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法、測定物質及び測定場所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。</p> <p>※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。</p>		<p>「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工種</th> <th>建築基準法の指定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合成高分子系ルーフィングシート工法</td> <td>風速(V0) ※30</td> </tr> <tr> <td>外壁乾式工法</td> <td>長尺金属板葺</td> </tr> <tr> <td>折板葺</td> <td>粘土瓦葺</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム笠木</td> <td>多雪地域の指定</td> </tr> <tr> <td>オーバーヘッドドア</td> <td>有 ・ 無</td> </tr> <tr> <td>ガラスブロック</td> <td>屋上緑化</td> </tr> </tbody> </table>		適用工種	建築基準法の指定	合成高分子系ルーフィングシート工法	風速(V0) ※30	外壁乾式工法	長尺金属板葺	折板葺	粘土瓦葺	アルミニウム笠木	多雪地域の指定	オーバーヘッドドア	有 ・ 無	ガラスブロック	屋上緑化	<p>※ 図示 ・ 現状平均地盤高</p> <p>(1.5.2)</p> <p>・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種（技能検定作業）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・ とび（とび作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業）</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・ 型枠施工（型枠工事作業） ・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・ 鉄工（構造物鉄工作業） ・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・ 防水施工（アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業）</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・ 石材施工（石張り作業）</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・ タイル張り（タイル張り作業）</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>・ 建築大工（大工工事作業）</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・ 建築板金（内外装板金作業）</td> </tr> </tbody> </table>		工事種目	技能検定職種（技能検定作業）	仮設工事	・ とび（とび作業）	鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業）	コンクリート工事	・ 型枠施工（型枠工事作業） ・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）	鉄骨工事	・ 鉄工（構造物鉄工作業） ・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）	防水工事	・ 防水施工（アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業）	石工事	・ 石材施工（石張り作業）	タイル工事	・ タイル張り（タイル張り作業）	木工事	・ 建築大工（大工工事作業）	屋根及びとい工事	・ 建築板金（内外装板金作業）	<p>金属工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内装仕上施工（鋼製下地工事作業） ・ 建築板金（内外装板金作業） <p>左官工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バルコニー施工（金属バルコニー工事作業） ・ 左官（左官作業） <p>建具工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ ガラス施工（ガラス工事作業） ・ 自動ドア施工（自動ドア施工作業） <p>カーテンウォール工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カーテンウォール施工（金属製カーテンウォール工事作業） ・ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ ガラス施工（ガラス工事作業） <p>塗装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装（建築塗装作業） <p>内装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内装仕上施工（プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ作業 ・ ボード仕上げ工事作業） ・ 表装（壁装作業） <p>排水工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配管（建築配管作業） <p>舗装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路面標示施工（溶融・イントロッドマーカー工事作業 ・ 加熱・イントロッドマーカー作業） <p>補装工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 造園（造園工事作業） 		<p>④ 完成図等</p> <p>営繕工事完成引渡要領（令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課）により作成する。</p> <p>※ 白焼A4版折製本（黒表紙金文字入） 1部 ※ 白焼縮小（A3版）2つ折製本 1部 ※ 完成図面 JWJ形式又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式 DVD-R等2部</p> <p>⑬ 完成写真</p> <p>※ 作成する ・ 作成しない 営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本（電子媒体）とともに監督職員に提出する。 なお、原本は、DVD-R等で提出すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>サイズ</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>提出様式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※カラー ・ 白黒</td> <td>※L ・ 2L ・ 六切り</td> <td>※営繕工事写真 撮影要領の 完成写真程度 ・ 箇所数</td> <td>※1部 ・ 1部</td> <td>※工務用アルバムA4版 ポケット程度 ○フリーアルバム （台紙寸法323×270程度）</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。</p> <p>⑯ 設備工事との取合い</p> <p>施工範囲 各工事の区分表による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。</p> <p>⑰ 火災保険等</p> <p>工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで</p> <p>18. 住宅瑕疵担保責任</p> <p>住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付けあり（新築住宅の場合） ・ なし（新築住宅以外の場合）</p>		分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式	※カラー ・ 白黒	※L ・ 2L ・ 六切り	※営繕工事写真 撮影要領の 完成写真程度 ・ 箇所数	※1部 ・ 1部	※工務用アルバムA4版 ポケット程度 ○フリーアルバム （台紙寸法323×270程度）	<p>4 地業工事</p> <p>1. 支持地盤 (3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6)</p> <p>2. 既製コンクリート杭地業 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)~(4.3.6)(4.3.8)</p> <p>杭の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杭基礎 ・ 支持層の位置及び土質（基礎ぐい先端の位置含む） ・ 図示による ・ 直接基礎 ・ 支持層の位置及び土質（基礎底部の位置含む） ・ 図示による ・ 地盤の載荷試験（平板載荷試験） ・ 行う 試験の方法、位置及び載荷荷重は図示による <p>杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分（種別）、寸法、継手の箇所数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>杭厚 (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開放型 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セメントミルク工法 ・ 図示による ・ 特定埋込杭工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法 ・ 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 ・ 図示による ・ プレポーリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による ・ 建込み時の杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 評定等の評価内容による <p>杭の継手の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アーク溶接継手 溶接材料 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法 <p>杭頭の処理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・ 図示による <p>3. 鋼杭地業 (4.2.2)(4.4.3)~(4.4.6)</p> <p>鋼杭の材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>杭の種類、寸法、継手の箇所数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>特定埋込杭工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法 ・ 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 ・ 図示による ・ 工法 （ ） ・ （ ） <p>杭の継手の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アーク溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの） 工法 ※評定等を受けた工法 <p>杭頭の処理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・ 図示による 		種類	種類	杭径 (mm)	杭厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭								本杭	上杭 中杭 下杭								種類	種類	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭								本杭	上杭 中杭 下杭								<p>館腰公民館移転改築工事設計業務</p> <p>設計年月 令和8年5月</p> <p>設計者 株式会社 東北線企画 一級建築士（大臣）第98900号 折原 幸一</p> <p>図面番号 T-01</p>	
適用工種	建築基準法の指定																																																																																																																				
合成高分子系ルーフィングシート工法	風速(V0) ※30																																																																																																																				
外壁乾式工法	長尺金属板葺																																																																																																																				
折板葺	粘土瓦葺																																																																																																																				
アルミニウム笠木	多雪地域の指定																																																																																																																				
オーバーヘッドドア	有 ・ 無																																																																																																																				
ガラスブロック	屋上緑化																																																																																																																				
工事種目	技能検定職種（技能検定作業）																																																																																																																				
仮設工事	・ とび（とび作業）																																																																																																																				
鉄筋工事	・ 鉄筋施工（鉄筋組立作業）																																																																																																																				
コンクリート工事	・ 型枠施工（型枠工事作業） ・ コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）																																																																																																																				
鉄骨工事	・ 鉄工（構造物鉄工作業） ・ ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）																																																																																																																				
防水工事	・ 防水施工（アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業）																																																																																																																				
石工事	・ 石材施工（石張り作業）																																																																																																																				
タイル工事	・ タイル張り（タイル張り作業）																																																																																																																				
木工事	・ 建築大工（大工工事作業）																																																																																																																				
屋根及びとい工事	・ 建築板金（内外装板金作業）																																																																																																																				
分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式																																																																																																																	
※カラー ・ 白黒	※L ・ 2L ・ 六切り	※営繕工事写真 撮影要領の 完成写真程度 ・ 箇所数	※1部 ・ 1部	※工務用アルバムA4版 ポケット程度 ○フリーアルバム （台紙寸法323×270程度）																																																																																																																	
種類	種類	杭径 (mm)	杭厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																													
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																				
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																				
種類	種類	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																																																													
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																				
本杭	上杭 中杭 下杭																																																																																																																				

④ 地業工事 構造特記による	4. 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1)	<p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アースドリル工法(安定液 ※使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない) <p>併用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 <ul style="list-style-type: none"> ・SKK400 ・SKK490 ・拡底杭工法(安定液 ・使用する ・使用しない) <p>寸法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>孔壁測定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う 測定方法、測定箇所は図示による ・行わない <p>材料その他 (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯筋 ・図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ ・図示による セメントの種類 <ul style="list-style-type: none"> ※高炉セメントB種 コンクリートの種別 <ul style="list-style-type: none"> ・A種 ・B種 ・評定等の評価内容による <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18cm ・21cm <p>コンクリートの設計基準強度 ()N/mm²</p> <p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3N/mm² ・評定等の評価内容による 	6. 特殊な鉄筋継手 (5.5.1~5.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・機械式継手 適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 性能(H12建告第1463号に適合するもの) <ul style="list-style-type: none"> ・A級 機械式継手の種類() 鉄筋相互のあき ※図示による 施工完了後の試験 ※図示による 	⑦ 鉄骨工事 構造特記による	1. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 <ul style="list-style-type: none"> ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場 	15. 溶接部の試験 (7.6.12)	<p>溶接部の外観試験</p> <p>平12建告第1464号第二号に関する試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JASS6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる ただし、完全溶込溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>溶接の区分</th> <th>AQOL (%)</th> <th>検査水準</th> <th>備</th> <th>考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工場溶接</td> <td>・2.5</td> <td>※4.0</td> <td>※6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	溶接の区分	AQOL (%)	検査水準	備	考	工場溶接	・2.5	※4.0	※6																																																																																																																				
	溶接の区分	AQOL (%)	検査水準	備		考																																																																																																																																
	工場溶接	・2.5	※4.0	※6																																																																																																																																		
	5. 砂利地業 (4.6.2~3)	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂利 ※再生クラッシュラン <p>範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下 ・図示による <p>厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※60mm 	7. 各部配筋 (5.3.7)	<p>各部の配筋は、図示による。図示がなければ、標準仕様書 末尾 資料の「各部配筋 参考図」による。</p>		2. 鋼材の種別 (7.2.1)(表7.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規</th> <th>格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>		種類の記号	適用箇所	規	格	※図示による()	()	※JISによる	()	※図示による()	()	※JISによる	()	※図示による()	()	※JISによる	()	16. 錆止め塗装 (7.8.2)(7.8.4)(18.3.2)	<p>塗料の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.8.2)(7.8.4)(18.3.2) 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・図示による <p>塗料の種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別 																																																																																																												
種類の記号	適用箇所	規	格																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
6. 捨コンクリート地業 (4.6.2)	<p>範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下 ・図示による <p>厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※50mm <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※18N/mm² <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※15cm又は18cm 	8. 柱の帯筋 (参考図 図2.2)	<ul style="list-style-type: none"> ※ H形 ・ W-I 形 ・ S P 形 	3. 高力ボルト (7.2.2)	<p>高力ボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.2) ※ トルシア形高力ボルト ・ J I S 形高力ボルト <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.2) ・図示による <p>すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない 	17. 耐火被覆 (7.9.2~8)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐火材 吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール ※半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材 巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材 吹付け	・乾式吹付けロックウール ※半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール			耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			耐火材 巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り				・耐火塗料																																																																																																										
種 別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																																			
耐火材 吹付け	・乾式吹付けロックウール ※半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール																																																																																																																																					
耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																					
耐火材 巻付け	・高断熱ロックウール																																																																																																																																					
・ラス張りモルタル塗り																																																																																																																																						
・耐火塗料																																																																																																																																						
7. 床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5)	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 <p>範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) 	9. 柱の耐震壁を除く壁の開口部補強 (参考図 表4.3~4.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 形 ※ B 形 	4. 普通ボルト (7.2.3)	<p>ボルト及びナットの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.3) ・標準仕様書 表7.2.3による 座金 ・標準仕様書7.2.3(4)による <p>ボルトの径</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.2) ・図示による <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・図示による <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.3) ・図示による <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.2) ・図示による <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・ ・ <p>すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない 	18. アンカーボルトの設置等 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)	<p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1) ・図示による <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>建方用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 種別 <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 ・ B種 <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚さ 種別 <ul style="list-style-type: none"> ※A種 ・ B種 																																																																																																																															
8. 地盤改良工法	<p>種類及び施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図示による 	10. はり貫通孔の補強 (参考図 表7.1~7.3)	<p>補強形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ※H3形以上 ・ M型 ・ MH型 	5. 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.3)	<p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.3) ・図示による <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.2) ・図示による <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・ ・ <p>すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない 	19. 軽量形鋼構造 (7.11.2)	<p>ボルトの接合部</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.11.2) ・普通ボルト接合 																																																																																																																															
9. 置換コンクリート地業(ラップルコンクリート地業)	<p>形状等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による 支持地盤 ・図示による 	11. 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)	<p>外観試験</p> <ul style="list-style-type: none"> (5.4.10) ※ 行う(全数) <p>抜取試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 	6. アンカーボルト (7.2.4)	<p>構造用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.4) ・ ABR400 ・ ABR490 <p>建方用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SS400 <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.2) ・標準仕様書 表7.2.3による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による 	8. コンクリートブロック・ALCパネル	<p>1. 補強コンクリートブロック造り</p> <p>ブロックの種類 (8.4.2~5)(表8.4.2~4)</p> <p>断面形状及び圧縮正味厚さモジュール呼び寸法強さによる区分 (mm) 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備考</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単位荷重(N/m²)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 長さ (時間)</th> <th>耐火性能 種別</th> <th>構造の</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁用</td> <td>・一般</td> <td>・平</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・コーナー</td> <td>・意匠</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁用</td> <td>・一般</td> <td>・平</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし</td> <td>・C種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・コーナー</td> <td>・意匠</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1</td> <td>・D種</td> </tr> <tr> <td>・屋根用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・0.5</td> <td>※F種</td> </tr> <tr> <td>・床用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1</td> <td>※F種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. コンクリートブロック塀壁及び塀 (8.3.2~4)(表8.3.1)</p> <p>断面形状及び圧縮正味厚さモジュール呼び寸法強さによる区分 (mm) 長さ 高さ 化粧の有無 (表8.3.1)以外の適用箇所 備考</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>単位荷重(N/m²)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 長さ (時間)</th> <th>耐火性能 種別</th> <th>構造の</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外壁用</td> <td>・一般</td> <td>・平</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・コーナー</td> <td>・意匠</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁用</td> <td>・一般</td> <td>・平</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし</td> <td>・C種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・コーナー</td> <td>・意匠</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1</td> <td>・D種</td> </tr> <tr> <td>・屋根用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・0.5</td> <td>※F種</td> </tr> <tr> <td>・床用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・1</td> <td>※F種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. ALCパネル (8.4.2~5)(表8.4.2~4)</p> <p>パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材</p> <p>パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>目地幅</p> <ul style="list-style-type: none"> ※20mm <p>外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地材への耐火目地材の充填</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない 	区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ (mm)	幅 長さ (時間)	耐火性能 種別	構造の	・外壁用	・一般	・平	・	・	・なし	・A種	・	・コーナー	・意匠	・	・	・1	・B種	・間仕切壁用	・一般	・平	・	・	・なし	・C種	・	・コーナー	・意匠	・	・	・1	・D種	・屋根用	—	—	・	・	・0.5	※F種	・床用	—	—	・	・	・1	※F種	・	—	—	・	・	・2		区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ (mm)	幅 長さ (時間)	耐火性能 種別	構造の	・外壁用	・一般	・平	・	・	・なし	・A種	・	・コーナー	・意匠	・	・	・1	・B種	・間仕切壁用	・一般	・平	・	・	・なし	・C種	・	・コーナー	・意匠	・	・	・1	・D種	・屋根用	—	—	・	・	・0.5	※F種	・床用	—	—	・	・	・1	※F種	・	—	—	・	・	・2																		
区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ (mm)	幅 長さ (時間)	耐火性能 種別	構造の																																																																																																																																	
・外壁用	・一般	・平	・	・	・なし	・A種																																																																																																																																
・	・コーナー	・意匠	・	・	・1	・B種																																																																																																																																
・間仕切壁用	・一般	・平	・	・	・なし	・C種																																																																																																																																
・	・コーナー	・意匠	・	・	・1	・D種																																																																																																																																
・屋根用	—	—	・	・	・0.5	※F種																																																																																																																																
・床用	—	—	・	・	・1	※F種																																																																																																																																
・	—	—	・	・	・2																																																																																																																																	
区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ (mm)	幅 長さ (時間)	耐火性能 種別	構造の																																																																																																																																	
・外壁用	・一般	・平	・	・	・なし	・A種																																																																																																																																
・	・コーナー	・意匠	・	・	・1	・B種																																																																																																																																
・間仕切壁用	・一般	・平	・	・	・なし	・C種																																																																																																																																
・	・コーナー	・意匠	・	・	・1	・D種																																																																																																																																
・屋根用	—	—	・	・	・0.5	※F種																																																																																																																																
・床用	—	—	・	・	・1	※F種																																																																																																																																
・	—	—	・	・	・2																																																																																																																																	
⑤ 鉄筋工事	1. 鉄筋 (5.2.1)	<p>鉄筋の種類等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼 び 径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考	※ SD295			※ SD345			⑥ コンクリート工事	1. 鉄骨の種類 (7.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 <ul style="list-style-type: none"> ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場 	2. 溶接金網 (5.2.2)	<p>鉄線の形状等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>形状、網目寸法、径(mm)</th> <th>使用 部 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	種類の記号	形状、網目寸法、径(mm)	使用 部 位	・溶接金網				・鉄筋格子				3. 鉄筋の継手 (5.3.4)	<p>鉄筋の継手の方法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>継手の方法</th> <th>呼 び 径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td></td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td></td> <td>※溶接継手 ・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td></td> <td>※重ね継手</td> <td>※D16以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 	種類	種類の記号	継手の方法	呼 び 径 (mm)	柱、梁の主筋		※ガス圧接 ・機械式継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋		※溶接継手 ・重ね継手		その他の鉄筋()		※重ね継手	※D16以下	2. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 <ul style="list-style-type: none"> ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場 	4. 鉄筋の定着 (5.3.4)	<p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 	3. 高力ボルト (7.2.2)	<p>高力ボルトの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.2) ※ トルシア形高力ボルト ・ J I S 形高力ボルト <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.2) ・図示による <p>すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない 	5. 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.3)	<p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.3) ・図示による <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.2) ・図示による <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・ ・ <p>すべり試験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.4.2) ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない 	6. アンカーボルト (7.2.4)	<p>構造用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.4) ・ ABR400 ・ ABR490 <p>建方用アンカーボルト種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SS400 <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.2) ・標準仕様書 表7.2.3による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による 	4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	7. 溶接材料 (7.2.5)	<p>溶接材料</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.5) ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による 	7. 鉄骨の種類 (7.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規</th> <th>格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	適用箇所	規	格	※図示による()	()	※JISによる	()	※図示による()	()	※JISによる	()	※図示による()	()	※JISによる	()	8. ターンバックル (7.2.6)	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.6) 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル胴 ※割棒式 	8. 地盤改良工法	<p>種類及び施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図示による 	9. 柱の耐震壁を除く壁の開口部補強 (参考図 表4.3~4.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 形 ※ B 形 	9. 溶接技術者の技量付加試験 (7.6.3)	<p>試験の要領</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.6.3) ・図示による 	10. スタッド (7.2.8)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼 び 名</th> <th>呼 び 長 さ (mm)</th> <th>適 用 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼 び 名	呼 び 長 さ (mm)	適 用 箇 所	・16			・19			・22			10. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> ※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 <ul style="list-style-type: none"> ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場 	11. 柱底均しモルタル (7.2.9)	<p>無収縮モルタルとする場合の材料、調合等</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.2.9) ※標準仕様書7.2.9(2)(ア)から(エ)による 	12. 仮組 (7.3.10)	<p>仮組を行う範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.10) ・図示による 	13. 溶接技術者の技量付加試験 (7.6.3)	<p>試験の要領</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.6.3) ・図示による 	14. 溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)	<p>開先の形状</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.6.4)(7.6.7) ※図示による <p>鋼製エンドタブを切断する部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 切断する箇所 ・図示による <p>切断範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>スカラップの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 	11. 鉄骨の種類 (7.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規</th> <th>格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td>()</td> <td>※JISによる</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	適用箇所	規	格	※図示による()	()	※JISによる	()	※図示による()	()	※JISによる	()	※図示による()	()	※JISによる	()	12. 仮組 (7.3.10)	<p>仮組を行う範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.3.10) ・図示による 	13. 溶接技術者の技量付加試験 (7.6.3)	<p>試験の要領</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.6.3) ・図示による 	14. 溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)	<p>開先の形状</p> <ul style="list-style-type: none"> (7.6.4)(7.6.7) ※図示による <p>鋼製エンドタブを切断する部分</p> <ul style="list-style-type: none"> 切断する箇所 ・図示による <p>切断範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>スカラップの形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による
種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考																																																																																																																																				
※ SD295																																																																																																																																						
※ SD345																																																																																																																																						
種類	種類の記号	形状、網目寸法、径(mm)	使用 部 位																																																																																																																																			
・溶接金網																																																																																																																																						
・鉄筋格子																																																																																																																																						
種類	種類の記号	継手の方法	呼 び 径 (mm)																																																																																																																																			
柱、梁の主筋		※ガス圧接 ・機械式継手	※D19以上																																																																																																																																			
耐力壁の鉄筋		※溶接継手 ・重ね継手																																																																																																																																				
その他の鉄筋()		※重ね継手	※D16以下																																																																																																																																			
種類の記号	適用箇所	規	格																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
呼 び 名	呼 び 長 さ (mm)	適 用 箇 所																																																																																																																																				
・16																																																																																																																																						
・19																																																																																																																																						
・22																																																																																																																																						
種類の記号	適用箇所	規	格																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
※図示による()	()	※JISによる	()																																																																																																																																			
① 鉄筋 (5.2.1)	<p>鉄筋の種類等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼 び 径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考	※ SD295			※ SD345			⑦ 鉄骨工事 (5.5.1~5.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・機械式継手 適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 性能(H12建告第1463号に適合するもの) <ul style="list-style-type: none"> ・A級 機械式継手の種類() 鉄筋相互のあき ※図示による 施工完了後の試験 ※図示による 	⑧ 鉄筋工事 (5.3.4)	<p>鉄筋の継手の方法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>継手の方法</th> <th>呼 び 径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td></td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td></td> <td>※溶接継手 ・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td></td> <td>※重ね継手</td> <td>※D16以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 	種類	種類の記号	継手の方法	呼 び 径 (mm)	柱、梁の主筋		※ガス圧接 ・機械式継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋		※溶接継手 ・重ね継手		その他の鉄筋()		※重ね継手	※D16以下	⑨ 鉄筋工事 (5.3.4)	<p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 	⑩ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑪ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 	⑫ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑬ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑭ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑮ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑯ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑰ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑱ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑲ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	⑳ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	㉑ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	㉒ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	㉓ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示による) 適用箇所() <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() 	㉔ 鉄筋工事 (5.3.5)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有り(※図示による) 適用箇所() ・有り(※図示																																																																								
種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考																																																																																																																																				
※ SD295																																																																																																																																						
※ SD345																																																																																																																																						
種類	種類の記号	継手の方法	呼 び 径 (mm)																																																																																																																																			
柱、梁の主筋		※ガス圧接 ・機械式継手	※D19以上																																																																																																																																			
耐力壁の鉄筋		※溶接継手 ・重ね継手																																																																																																																																				
その他の鉄筋()		※重ね継手	※D16以下																																																																																																																																			

20 ユニット下及びその他の工事	4. トイレブース (20.2.5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td colspan="2">※メラミン樹脂系化粧板(標準色) ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> </tr> </table>	表面材の材料		脚部	ドアエッジ	※メラミン樹脂系化粧板(標準色) ・ポリエステル樹脂系化粧板		※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製	13. ロールスクリーン (20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td> <td>※製造所の仕様 ・図示による</td> <td>・図示による</td> <td>・</td> </tr> </table>	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様 ・図示による	・図示による	・	22. 流し台ユニット	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・流し台</td> <td>・1200</td> <td>・550</td> <td>・800</td> <td rowspan="3">市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・1500</td> <td>・600</td> <td>・850</td> </tr> <tr> <td>・1800</td> <td>・650</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550</td> <td>・620</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つり戸棚</td> <td>・1200</td> <td>・450</td> <td>・500</td> <td rowspan="2">市販品</td> </tr> <tr> <td>・900</td> <td>・</td> <td>・700</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>市販品 ステンレス製 ※1段式</td> </tr> <tr> <td colspan="5">形状 ※図示による</td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)			備考	W	D	H	・流し台	・1200	・550	・800	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・1500	・600	・850	・1800	・650	・	・コンロ台	・600	・550	・620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・つり戸棚	・1200	・450	・500	市販品	・900	・	・700	・水切り	・1200	・	・	市販品 ステンレス製 ※1段式	形状 ※図示による					33. 屋外掲示板	<p>照明器具 ・有り ○無し 施錠 ○有り ・無し 製造所 ○ 図示</p>																						
	表面材の材料		脚部	ドアエッジ																																																																																						
	※メラミン樹脂系化粧板(標準色) ・ポリエステル樹脂系化粧板		※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製																																																																																						
	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																																																					
	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様 ・図示による	・図示による	・																																																																																					
	材種	寸法 (mm)			備考																																																																																					
		W	D	H																																																																																						
	・流し台	・1200	・550	・800	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																																																																																					
		・1500	・600	・850																																																																																						
		・1800	・650	・																																																																																						
	・コンロ台	・600	・550	・620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																																																					
	・つり戸棚	・1200	・450	・500	市販品																																																																																					
・900		・	・700																																																																																							
・水切り	・1200	・	・	市販品 ステンレス製 ※1段式																																																																																						
形状 ※図示による																																																																																										
5. 手すり (20.2.6)	<p>材料の種類及び仕上げ ・SUS304 表面処理 ※HL程度 ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種) ・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種) 色合い ・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・集成材 (材種:)</td> <td rowspan="2">・クリアラッカー</td> <td>・35程度</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・45程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ビニル製</td> <td rowspan="2"></td> <td>・35程度</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・45程度</td> </tr> </table>	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	・集成材 (材種:)	・クリアラッカー	・35程度			・45程度	・ビニル製		・35程度			・45程度	14. カーテン (20.2.16)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類 品質、特殊加工等</th> <th>取付け 箇所</th> </tr> <tr> <td>・シングル・片引き ・ダブル・引分け</td> <td>※手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ブレンひだ</td> <td>遮光 防炎</td> <td>○図示による</td> </tr> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類 品質、特殊加工等	取付け 箇所	・シングル・片引き ・ダブル・引分け	※手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ブレンひだ	遮光 防炎	○図示による	23. 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>※ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		34. 収納家具	<p>合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による</p>																																												
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																																						
・集成材 (材種:)	・クリアラッカー	・35程度																																																																																								
		・45程度																																																																																								
・ビニル製		・35程度																																																																																								
		・45程度																																																																																								
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類 品質、特殊加工等	取付け 箇所																																																																																						
・シングル・片引き ・ダブル・引分け	※手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ブレンひだ	遮光 防炎	○図示による																																																																																						
材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																					
※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																						
6. 階段滑り止め (20.2.7)	<p>材種 ※ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材</p> <p>形状 ※タイヤ型(タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤレス型</p> <p>寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度</p> <p>取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法</p>	15. カーテンレール (20.2.16)	<p>材料による区分 ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成型材 ※ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p>	23. 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>○ステンレス製</td> <td>○ 図示</td> <td></td> </tr> </table>	形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	○上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	○ステンレス製	○ 図示		24. 旗竿受金物	<p>材種 ※ステンレス製 (SUS 304)</p>	21. 排水工事	<p>① 屋外雨水排水 (21.2.1、2) (表 21.2.1、2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋 コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○硬質ポリ塩化 ビニル管</td> <td>・RS-VU</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○VP</td> <td></td> <td>○図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・VU</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>② 排水工事</p> <p>③ グレーチング (21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鑄鉄製マン ホールふた</td> <td>・水封形</td> <td>・T-2用</td> <td>・有り</td> <td rowspan="2">左記以外の品質 等は(公社)空 気調和衛生工学 会SHASE-S209に よる。</td> </tr> <tr> <td>・簡易密閉形 (ハッパ式)</td> <td>・T-6用</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・密閉形 (テーパーハッパ式)</td> <td>・T-20用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・中ふた付き密閉形 (テーパーハッパ式)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>④ グレーチング (21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインピッチ</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※鋼製</td> <td rowspan="2">○受枠付き、 ボルト固定</td> <td>○溝ふた (横断用)</td> <td>・歩行用</td> <td>・細目</td> </tr> <tr> <td>○溝ふた (側溝用)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用</td> <td>○普通目 ・細目</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・スチール製</td> <td rowspan="2">・受枠付き、 ボルト固定</td> <td>○U字溝用</td> <td>○T-20用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○溝ふた (横断用)</td> <td>・歩行用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○溝ふた (側溝用)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td></td> </tr> </table>	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋 コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示による		○硬質ポリ塩化 ビニル管	・RS-VU		・図示による		○VP		○図示による			・VU		・図示による		名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鑄鉄製マン ホールふた	・水封形	・T-2用	・有り	左記以外の品質 等は(公社)空 気調和衛生工学 会SHASE-S209に よる。	・簡易密閉形 (ハッパ式)	・T-6用	・無し		・密閉形 (テーパーハッパ式)	・T-20用				・中ふた付き密閉形 (テーパーハッパ式)				材質	形式	用途	適用荷重	メインピッチ	※鋼製	○受枠付き、 ボルト固定	○溝ふた (横断用)	・歩行用	・細目	○溝ふた (側溝用)	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用	○普通目 ・細目	・スチール製	・受枠付き、 ボルト固定	○U字溝用	○T-20用		○溝ふた (横断用)	・歩行用				○溝ふた (側溝用)	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	
形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																							
○上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	○ステンレス製	○ 図示																																																																																								
材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																						
・遠心力鉄筋 コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示による																																																																																							
○硬質ポリ塩化 ビニル管	・RS-VU		・図示による																																																																																							
	○VP		○図示による																																																																																							
	・VU		・図示による																																																																																							
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																						
鑄鉄製マン ホールふた	・水封形	・T-2用	・有り	左記以外の品質 等は(公社)空 気調和衛生工学 会SHASE-S209に よる。																																																																																						
	・簡易密閉形 (ハッパ式)	・T-6用	・無し																																																																																							
	・密閉形 (テーパーハッパ式)	・T-20用																																																																																								
	・中ふた付き密閉形 (テーパーハッパ式)																																																																																									
材質	形式	用途	適用荷重	メインピッチ																																																																																						
※鋼製	○受枠付き、 ボルト固定	○溝ふた (横断用)	・歩行用	・細目																																																																																						
		○溝ふた (側溝用)	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用	○普通目 ・細目																																																																																						
・スチール製	・受枠付き、 ボルト固定	○U字溝用	○T-20用																																																																																							
		○溝ふた (横断用)	・歩行用																																																																																							
		○溝ふた (側溝用)	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用																																																																																							
7. 黒板及び ホワイトボード (20.2.9)	<p>・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ※鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ※緑 ・ホワイトボード</p>	16. ブラインド ボックス 及びカーテン ボックス	<p>材種 ・集成材 (仕上げ: SGP塗装) ※アルミニウム製 押し成型材 (市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別 ※BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色 () ・特注色 () ・鋼製 (仕上げ:)</p>	24. 旗竿受金物	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・屋内外用 ・額縁タイプ ・額縁タイプ</td> <td>・額縁タイプ ・屋内用</td> <td>※目地タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・気密形</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般形 ・屋内外用 ・額縁タイプ ・額縁タイプ	・額縁タイプ ・屋内用	※目地タイプ			・気密形			25. 車止めさく	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>○ステンレス製</td> <td>○ 図示</td> <td></td> </tr> </table>	形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	○上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	○ステンレス製	○ 図示		25. 車止めさく	<p>⑤ 車止めさく</p>																																																										
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																						
※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般形 ・屋内外用 ・額縁タイプ ・額縁タイプ	・額縁タイプ ・屋内用	※目地タイプ																																																																																						
		・気密形																																																																																								
形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																							
○上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	○ステンレス製	○ 図示																																																																																								
8. 鏡 (20.2.10)	<p>取付け箇所 (寸法 (mm)) ・図示による 厚さ (mm) ※5</p>	17. 天井点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> <td>・額縁タイプ ・額縁タイプ</td> </tr> </table>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	※450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・額縁タイプ	26. フェンス	<p>フェンスの種類 ○ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス</p> <p>高さ ・図示による</p>	26. フェンス	<p>⑥ フェンス</p>																																																																									
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																						
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	※450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・額縁タイプ																																																																																						
9. 表示 (20.2.11)	<p>衝突防止表示 ・設置する (設置場所: ※図示による) 形状・寸法 (※30φ) 材質 ※ステンレス製 ・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、 印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による</p>	18. 床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ※600×600</td> <td>※一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。</p>	材種	寸法	形式	備考	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き	27. ブレキャスト コンクリート (20.3.3、4)	<p>コンクリートの設計基準強度 (20.3.3、4) ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を 満足する調合強度 ・図示による</p> <p>配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ・図示による</p> <p>取付け方法 ※図示による</p>	27. ブレキャスト コンクリート	<p>⑦ ブレキャスト コンクリート</p>																																																																											
材種	寸法	形式	備考																																																																																							
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																																																																																							
10. タラップ (20.2.12)	<p>材質及び仕上げ ・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり なし) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 (※0種) 種)</p>	19. 耐震スリット	<table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>幅(mm)</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直</td> <td>・25</td> <td>・完全 (全貫通型)</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水平</td> <td>・25</td> <td></td> <td>・非耐火型</td> <td>・無し</td> <td></td> </tr> </table>	方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直	・25	・完全 (全貫通型)	・耐火型	・有り		・水平	・25		・非耐火型	・無し		28. 間知石及び コンクリート 間知ブロック 積み (20.4.2、3)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート 間知ブロック</td> <td>-</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示による 伸縮調整目地 材種 ・図示による 厚さ ・図示による</p>	材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-	・コンクリート 間知ブロック	-	・A ・B		28. 間知石及び コンクリート 間知ブロック 積み	<p>⑧ 間知石及び コンクリート 間知ブロック 積み</p>																																																					
方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																					
・垂直	・25	・完全 (全貫通型)	・耐火型	・有り																																																																																						
・水平	・25		・非耐火型	・無し																																																																																						
材種	種類	質量区分	備考																																																																																							
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-																																																																																							
・コンクリート 間知ブロック	-	・A ・B																																																																																								
11. 煙突ライニング (20.2.13)	<p>適用安全使用温度 工法 ※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)</p>	20. 止水板	<p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材(見え掛かり部のみ)</td> <td>・シーリング材(見え掛かり部のみ)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法 (mm)</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書表9.7.11による</p>	目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ)	・シーリング材(見え掛かり部のみ)	目地寸法 (mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10	29. 鋼製書架及び 物品棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	29. 鋼製書架及び 物品棚	<p>⑨ 鋼製書架及び 物品棚</p>																																																																				
目地	内壁	外壁																																																																																								
目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ)	・シーリング材(見え掛かり部のみ)																																																																																								
目地寸法 (mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10																																																																																								
種類	規格等	JISによる種類																																																																																								
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																								
12. ブラインド (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>操作方法の種類</th> <th>スラットの種類</th> <th>スラット幅</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・横形</td> <td rowspan="2">・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※7Mミニウム 合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td rowspan="2">・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・縦形</td> <td rowspan="2">・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・7Mスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>※7Mミニウム 合金製</td> <td rowspan="2">・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p>	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材質	幅・高さ 取付箇所	・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7Mミニウム 合金製	※25	※鋼製	・図示による					・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7Mスラット ・クロススラット	・80 ・100	※7Mミニウム 合金製	・図示による					21. くつふきマット	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製</td> <td>※ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材種	受け枠	備考	※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製	※ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金		30. 屋内掲示板	<p>枠の材質 ※アルミニウム製</p> <p>表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p>	30. 屋内掲示板	<p>⑩ 屋内掲示板</p>																																																
形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材質	幅・高さ 取付箇所																																																																																				
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7Mミニウム 合金製	※25	※鋼製	・図示による																																																																																				
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7Mスラット ・クロススラット	・80 ・100	※7Mミニウム 合金製	・図示による																																																																																				
材種	受け枠	備考																																																																																								
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製	※ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金																																																																																									
				31. 洗面カウンター	<p>材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 ・約600</p>	31. 洗面カウンター	<p>⑪ 洗面カウンター</p>																																																																																			
				32. 防煙垂れ壁	<p>・固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り	32. 防煙垂れ壁	<p>⑫ 防煙垂れ壁</p>																																																															
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																																							
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																																																							
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																																																							
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)																																																																																							
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り																																																																																							

業務名称

館歴公民館移転改築工事設計業務

工事名称

館歴公民館改築 (外構) 工事

設計年月

令和8年5月

株式会社 東北線企画

一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一

印

図面名称

特記仕様書 (3)

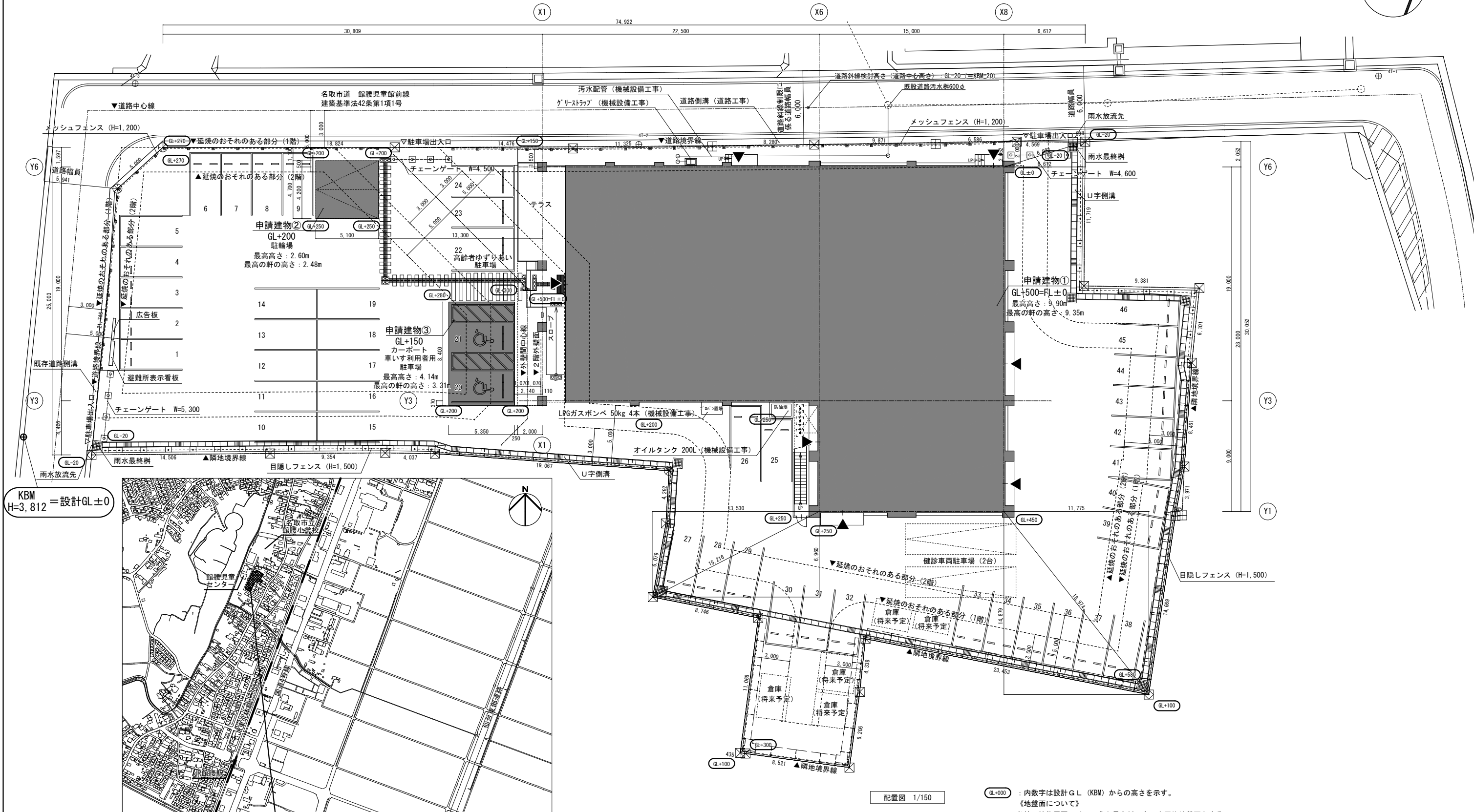
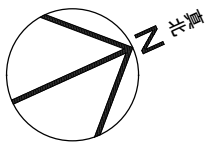
縮尺

A1:-
A3:-

図面番号

T-03

21 排水工事	⑤ 埋戻し土 (21. 2. 1)	<p>①現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 (N/mm²)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 21 スランプ (cm) ※ 15 <p>②現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号</p> <ul style="list-style-type: none"> ※SD295 <p>凍上抑制層に用いる材料</p> <ul style="list-style-type: none"> (砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない 	<p>④ コンクリート舗装</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ (22. 5. 2~4、6) (表22. 5. 1、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場 歩行者用通路</td> <td>○図示による ・図示による</td> <td>○図示による ※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料</p> <p>コンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> ※普通コンクリート、標準仕様書表22. 5. 1による ・以下による コンクリートの種類 () 設計基準強度 (N/mm²) () 所定のスランプ (cm) (※8) 粗骨材の最大寸法 (mm) () <p>早強ポルトランドセメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する ※使用しない <p>注入目地材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ <p>目地</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表22. 5. 3及び図22. 5. 1による ・以下による 種類 間隔 ()m程度ごと 構造 ・図示による <p>舗装の平たん性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※歩行の支障となる水たまりを生じない程度 	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場 歩行者用通路	○図示による ・図示による	○図示による ※70	<p>・ 舗石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>張り方</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 花こう岩</td> <td>・ 割石 ・ 図示による</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ コンクリート版</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ アスファルト混合物</td> <td>※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※砂 ・ 空練りモルタル <p>仕上り面の平たん性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。 <p>・ ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 60g/m²以上 <p>厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0.5~1.0 <p>引張強さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 <p>透水係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.5×10⁻¹cm/sec以上 <p>種類 (22. 9. 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※A種 (施工範囲: 図示による ※通路) ※B種 (施工範囲: 図示による ※建物周囲その他) 	種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)	・ 花こう岩	・ 割石 ・ 図示による	・	・	・ コンクリート版	※70					・ アスファルト混合物	※70	<p>① 新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置 (23. 3. 4、6) (23. 4. 7) (23. 5. 5)</p> <p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ※引渡しの日から1年 ・ 無し <p>移植樹木の枯損処置を行う期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ※引渡しの日から1年 ・ 無し <p>12. 屋上緑化 (23. 5. 2~4)</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上緑化システム ・ 土壌層の厚さ ・ 図示による 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・ 人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による <p>支柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置する ・ 設置しない 形式 ・ 図示による <p>かん水装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置する ・ 設置しない 種類 ・ 図示による 																																																																																																																																														
	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)																																																																																																																																																																									
コンクリート舗装	車路及び駐車場 歩行者用通路	○図示による ・図示による	○図示による ※70																																																																																																																																																																										
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																																																								
・ 花こう岩	・ 割石 ・ 図示による	・	・	・ コンクリート版	※70																																																																																																																																																																								
				・ アスファルト混合物	※70																																																																																																																																																																								
22 舗装工事	<p>① 路床 (22. 2. 2、3、5) (表22. 2. 1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○盛土</td> <td>・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>標準仕様書22. 2. 3. (3)による</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ※行わない <p>・ 路床安定処理</p> <p>安定処理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 <p>路床安定化処理用添加材料</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・特号 ・1号) ・ 消石灰 (・特号 ・1号) <p>添加量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ kg/m³ (CBR ・3以上) <p>・ ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 60g/m²以上 <p>厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0.5~1.0 <p>引張強さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 <p>透水係数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.5×10⁻¹cm/sec以上 <p>試験</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ※行わない <p>路床締め固めの試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ※行う ・ 行わない <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない 	種別	材料	厚さ(mm)	○盛土	・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による	・ 凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)	・ 図示による	・ フィルター層	標準仕様書22. 2. 3. (3)による	・ 図示による	<p>⑤ カラー舗装 (22. 6. 2~4)</p> <p>⑥ 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2、3、6)</p> <p>⑦ ブロック系舗装 (22. 8. 2、3)</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ (22. 5. 2~4、6) (表22. 5. 1、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○普通平板 (N)</td> <td>○300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ モルタル</td> <td>・ 研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 洗い出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ たき出し</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※砂 ・ 空練りモルタル <p>仕上り面の平たん性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。 <p>・ インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td>・ 図示による</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・ 図示による</td> <td>※60</td> <td>※3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※砂 ・ 空練りモルタル <p>仕上り面の平たん性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。 	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	○普通平板 (N)	○300角	※60	※砂	表面加工	・ 透水性ブロック (P)	・	・	・ モルタル	・ 研ぎ出し	・ 保水性ブロック (M)	・	・	・	・ 洗い出し					・ たき出し	種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※普通ブロック (N)	車路	・ 図示による	※80	※5.0	表面加工	・ 透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・	・ 保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・	※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・ 図示による	※60	※3.0	・	・ 透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・	・ 保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・	<p>8. 砂利敷き (22. 9. 2)</p> <p>⑧ 砂利敷き</p> <p>1. 植栽地の確認等 (23. 1. 3)</p> <p>2. 植栽基盤の整備 (23. 2. 2、4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (mm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ 樹木</td> <td>※A種</td> <td>樹高12m以上</td> <td>・ 葉張り部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>(※100 ・ 120 ・ 150)</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>樹高7m以上~12m未満</td> <td>・ 図示による</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ D種</td> <td>(※80 ・ 100)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m未満 (※50 ・ 60)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td></td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 図示による</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>植栽基盤の排水設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設ける (※図示による) ・ 設けない <p>③ 植込み用土 (23. 2. 3)</p> <p>④ 土壌改良材 (23. 2. 3)</p> <p>種類及び指定量等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パーク堆肥 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 50L) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・ 10L) <p>5. 樹木 (23. 3. 2)</p> <p>6. 支柱 (23. 3. 2、3)</p> <p>支柱材</p> <ul style="list-style-type: none"> ※丸太 (間伐材) ・ 真竹 <p>防腐処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※加圧式防腐処理丸太材 <p>形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>7. 幹巻き用材料 (23. 3. 2)</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも <p>8. 芝 (23. 4. 2、3)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※コウライシバ ○ノシバ <p>芝張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 平地 ※目地張り ○べた張り <p>法面</p> <ul style="list-style-type: none"> ※べた張り法面 ・ 目地張り <p>9. 吹付けは種 (23. 4. 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>10. 地被類 (23. 4. 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材	・ 樹木	※A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分	・ 適用する	・ B種	(※100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない	・ C種	樹高7m以上~12m未満	・ 図示による	・	・ D種	(※80 ・ 100)	・	・			樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)					樹高3m未満 (※50 ・ 60)			※B種	※20		・ 植栽部分	・ 適用する				・ 図示による	・ 適用しない	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上			樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数					<p>24 総揮発性有機化合物 (TVOC) (測定仕様書)</p> <p>1. 一般事項</p> <p>2. 測定対象化学物質</p> <p>3. 測定方法</p> <p>表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>化学物質名</th> <th>室内濃度指針値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>②トルエン</td> <td>260 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>③キシレン</td> <td>200 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>④エチルベンゼン</td> <td>3,800 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑤スチレン</td> <td>220 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑥パラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑦テトラデカン</td> <td>330 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑧アセトアルデヒド</td> <td>48 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑨ノナナール</td> <td>(暫定)141 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑩フタル酸ジ-n-ブチル</td> <td>17 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル</td> <td>100 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑫クロロピリロス</td> <td>1 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑬ダイアジノン</td> <td>0.29 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑭フェノプロカルブ</td> <td>33 μg/m³</td> </tr> <tr> <td>⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)</td> <td>400 μg/m³ (暫定目標値)</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 測定する室</p> <p>5. 測定結果等報告書の提出</p> <p>6. その他</p>	化学物質名	室内濃度指針値	①ホルムアルデヒド	100 μg/m ³	②トルエン	260 μg/m ³	③キシレン	200 μg/m ³	④エチルベンゼン	3,800 μg/m ³	⑤スチレン	220 μg/m ³	⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³	⑦テトラデカン	330 μg/m ³	⑧アセトアルデヒド	48 μg/m ³	⑨ノナナール	(暫定)141 μg/m ³	⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m ³	⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m ³	⑫クロロピリロス	1 μg/m ³	⑬ダイアジノン	0.29 μg/m ³	⑭フェノプロカルブ	33 μg/m ³	⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m ³ (暫定目標値)
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																																											
○盛土	・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示による																																																																																																																																																																											
・ 凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 (標準仕様書表21. 2. 2による)	・ 図示による																																																																																																																																																																											
・ フィルター層	標準仕様書22. 2. 3. (3)による	・ 図示による																																																																																																																																																																											
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																																																																									
○普通平板 (N)	○300角	※60	※砂	表面加工																																																																																																																																																																									
・ 透水性ブロック (P)	・	・	・ モルタル	・ 研ぎ出し																																																																																																																																																																									
・ 保水性ブロック (M)	・	・	・	・ 洗い出し																																																																																																																																																																									
				・ たき出し																																																																																																																																																																									
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																																																																																																																																																																								
※普通ブロック (N)	車路	・ 図示による	※80	※5.0	表面加工																																																																																																																																																																								
・ 透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・ 保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・ 図示による	※60	※3.0	・																																																																																																																																																																								
・ 透水性ブロック (P)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
・ 保水性ブロック (M)	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																								
植栽	工法	有効土層の厚さ (mm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																									
・ 樹木	※A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分	・ 適用する																																																																																																																																																																									
	・ B種	(※100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない																																																																																																																																																																									
	・ C種	樹高7m以上~12m未満	・ 図示による	・																																																																																																																																																																									
	・ D種	(※80 ・ 100)	・	・																																																																																																																																																																									
		樹高3m以上~7m未満 (※60 ・ 80)																																																																																																																																																																											
		樹高3m未満 (※50 ・ 60)																																																																																																																																																																											
※B種	※20		・ 植栽部分	・ 適用する																																																																																																																																																																									
			・ 図示による	・ 適用しない																																																																																																																																																																									
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考																																																																																																																																																																										
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上																																																																																																																																																																												
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																																																																																																																																										
化学物質名	室内濃度指針値																																																																																																																																																																												
①ホルムアルデヒド	100 μg/m ³																																																																																																																																																																												
②トルエン	260 μg/m ³																																																																																																																																																																												
③キシレン	200 μg/m ³																																																																																																																																																																												
④エチルベンゼン	3,800 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑤スチレン	220 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑦テトラデカン	330 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑨ノナナール	(暫定)141 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑫クロロピリロス	1 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑭フェノプロカルブ	33 μg/m ³																																																																																																																																																																												
⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m ³ (暫定目標値)																																																																																																																																																																												



KBM
H=3,812 = 設計GL±0



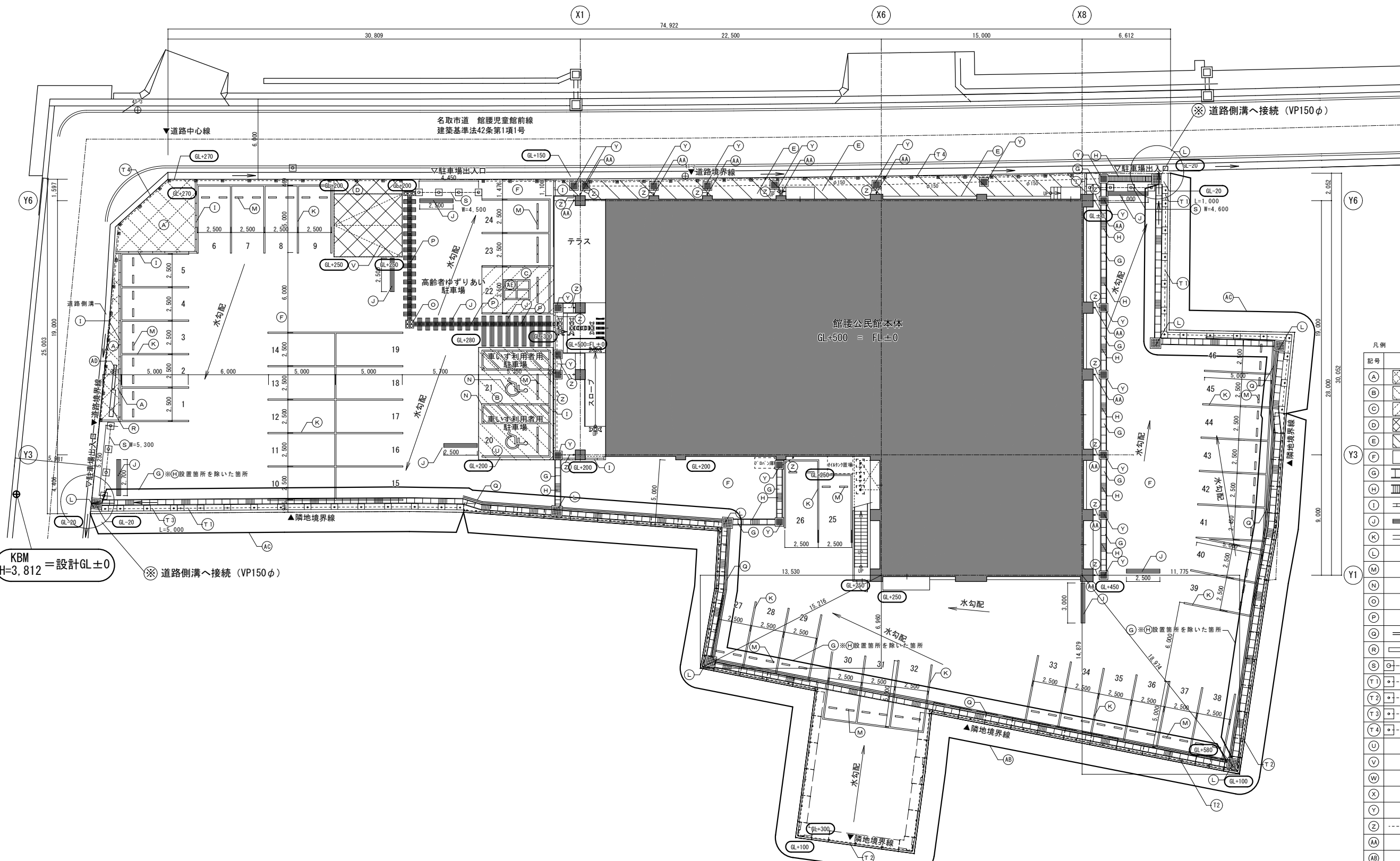
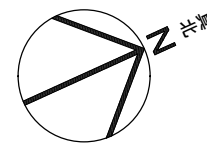
計画地：宮城県名取市植松三丁目 1 3 5-1 地

案内図 NS

配置図 1/150

- GL-000 : 内数字は設計GL (KBM) からの高さを示す。
《地盤面について》
各棟の建物周囲レベルのうち最も低いものを平均地盤面とする。
・申請建物①公民館：平均地盤面=GL±0 (=KBM) (当該外構工事範囲外)
・申請建物②駐輪場：平均地盤面=GL+200 (=KBM+200) (当該外構工事を含む)
・申請建物③カーポート：平均地盤面=GL+150 (=KBM+150) (当該外構工事を含む)

記	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築 (外構) 工事	設計年月	令和 8 年 5 月
	図面名称	案内図・配置図	縮尺	A1: 1/150 A3: 1/300	図面番号	A-02
製	製図者	株式会社 東北線企画 一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一	印			



KBM
H=3.812 = 設計GL±0

※道路側溝へ接続 (VP150φ)

凡例	記号	項目	数量
	A	野芝 客土 t=300	35.6㎡
	B	コンクリート下地 (土間コン t=150) 兼床 (外部用)	49.3㎡
	C	アスファルト舗装 (カラー)	19.3㎡
	D	コンクリート剛毛引き (土間コン t=150)	29.1㎡
	E	コンクリート洗い出し仕上げ (土間コン t=150+10%砂)	42.8㎡
	F	アスファルト舗装 (一般用)	1.510㎡
	G	U字溝 呼び名240 コーティング (車道用) 共	158 m
	H	U字溝 呼び名240 スチール製グレーチング蓋 (T-20) 共	26.1m
	I	地先境界ブロック W120	39.9m
	J	白線50引引き W300	図示
	K	白線50引引き W100	図示
	L	集水枘6000角 スチール製グレーチング蓋 (T-20) 共	図示
	M	車止め 200×100×600 駐車区画番号31の車止めは取外し可とする	図示
	N	障害者のための国際シンボルマーク (ゼブラゾーン含む)	図示
	O	視覚障害者用ブロック (点状)	図示
	P	視覚障害者用ブロック (線状)	図示
	Q	排水管 50φ	98 m
	R	避難所表示看板 (基礎含む)	1基
	S	チェーンゲート (基礎含む)	図示
	T1	目隠しフェンス (H=1,500) (独立基礎)	46.4m
	T2	目隠しフェンス (H=1,500) (隔壁取付) (縦巻きコンクリート含む)	119 m
	T3	メッシュフェンス (H=1,500) (基礎含む)	5.0m
	T4	メッシュフェンス (H=1,200) (基礎含む)	80.0m
	U	カーポート (地盤改良・基礎含む)	1基
	V	駐輪場 (基礎含む)	1基
	W		
	X	雨水枘450角 スチール製グレーチング蓋 (T-20) 共	図示
	Z	地中埋設 VP管 φ150 (特記なきはφ100)	図示
	AA	縦樋 VP φ100 (別途: 建築工事にて施工)	
	AB	プレキャストL型擁壁 (別途: 造成工事にて施工)	
	AC	歩車道境界ブロックC種 (別途: 造成工事にて施工)	
	AD	広告板 (H=1,975) (基礎含む)	1基
	AE	ゆずりあい駐輪場マーク	1箇所
	※	道路側溝へ接続	2箇所

外構平面図 1/150 GL+000 : 設計GL (KBM) からの高さを示す。
 ・仕上がり高さについては敷地周辺及び擁壁等設置済み工物の現況高さを確認の上決定する。
 ・敷地周辺及び擁壁等設置済み工物の現況高さの確認は工事費に含む。

記 事	業務名称	館慶公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館慶公民館改築 (外構) 工事	設計年月	令和8年5月
	業務内容	一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一	図面名称	外構平面図	縮尺	A1:1/150 A3:1/300
				図面番号		A-03

<p>アスファルト舗装 (一般用) アスファルト舗装 (カラー)</p> <p>S = 1/20</p> <p>断面図</p>	<p>洗い出し仕上げ詳細図</p> <p>S = 1/10</p> <p>断面図</p>	<p>地先境界ブロック・植栽詳細図</p> <p>S = 1/10</p> <p>断面図</p>	<p>車止め</p> <p>S = 1/20</p> <p>立面図 断面図 平面図</p>	<p>広告板</p> <p>S = 1/20</p> <p>正面図 S=1/20 側面図 S=1/30 断面図 S=1/5</p> <table border="1"> <caption>材質仕様書 ※ユニット掲示板: 三協立山機「SPK-1型」同等品</caption> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>支柱</td><td>アルミニウム合金押出型材</td></tr> <tr><td>上枠</td><td>アルミニウム合金押出型材</td></tr> <tr><td>下枠</td><td>アルミニウム合金押出型材</td></tr> <tr><td>たて枠</td><td>アルミニウム合金押出型材</td></tr> <tr><td>横枠</td><td>アルミニウム合金押出型材</td></tr> <tr><td>ホワイトボード</td><td>樹脂・ポリエチレン・アルミ板合板 t=6.4</td></tr> <tr><td>ガラス</td><td>強化ガラス t=5.0</td></tr> <tr><td>戸車</td><td>樹脂</td></tr> <tr><td>柱キャップ</td><td>樹脂</td></tr> <tr><td>ボルト等</td><td>ステンレス</td></tr> </tbody> </table>	名称	材質	支柱	アルミニウム合金押出型材	上枠	アルミニウム合金押出型材	下枠	アルミニウム合金押出型材	たて枠	アルミニウム合金押出型材	横枠	アルミニウム合金押出型材	ホワイトボード	樹脂・ポリエチレン・アルミ板合板 t=6.4	ガラス	強化ガラス t=5.0	戸車	樹脂	柱キャップ	樹脂	ボルト等	ステンレス
名称	材質																									
支柱	アルミニウム合金押出型材																									
上枠	アルミニウム合金押出型材																									
下枠	アルミニウム合金押出型材																									
たて枠	アルミニウム合金押出型材																									
横枠	アルミニウム合金押出型材																									
ホワイトボード	樹脂・ポリエチレン・アルミ板合板 t=6.4																									
ガラス	強化ガラス t=5.0																									
戸車	樹脂																									
柱キャップ	樹脂																									
ボルト等	ステンレス																									

集水樹・雨水樹 (7'レキャスト)

S = 1/30

断面図

名称	呼び名	a	b	接続される側溝の呼び名	H
雨水樹	450 側溝	450	570	300	450
集水樹	600 側溝	600	720	240	300
集水樹	600 側溝	600	720	300	450

1. 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。
2. 袖込み内に設ける場合は、ふた周囲には幅100mm程度の縁境をふた種の上端に合わせて設ける。
3. グレーチングはT-20とする。

U字側溝 (7'レキャスト) 及び蓋

S = 1/20

断面図

1. 鉄筋は、公共標仕(建)表5. 2. 1による。
2. 地業材料は、原則として再生クラッシュランとする。
3. U形側溝及びふたは、JIS A 5372による。
4. グレーチングはT-20とする。

導水管

S = 1/10

断面図

導水管: TDW50 (内径50mm) 有孔管 同等品以上
(デンカ株式会社 高密度ポリエチレン管トヨドレンダブル (農業用))

メッシュフェンス

S = 1/30

立面図 S=1/30
断面図 S=1/30

ワイヤメッシュ (ハイテンション線) (巻締、アルミめっき鉄線)

コンクリート基礎: コンクリート強度 21N/mm², SL15
鉄筋: Fc18N/mm² SL15

メッシュフェンス

S = 1/30

立面図 S=1/30
断面図 S=1/30

ワイヤメッシュ図 S=1/30

材質仕様書 ※ユニット掲示板: 三協立山機「SPK-1型」同等品

名称	材質
支柱	アルミニウム合金押出型材
上枠	アルミニウム合金押出型材
下枠	アルミニウム合金押出型材
たて枠	アルミニウム合金押出型材
横枠	アルミニウム合金押出型材
ホワイトボード	樹脂・ポリエチレン・アルミ板合板 t=6.4
ガラス	強化ガラス t=5.0
戸車	樹脂
柱キャップ	樹脂
ボルト等	ステンレス

誘導用床材・注意喚起用床材

S = 1/20

誘導用床材
注意喚起用床材

一般部
コーナー部
停止部
断面 (共通)

チェーンゲート (車止めポール (上下式))

S = 1/20

断面図 S=1/20
断面詳細図 S=1/10

材質仕様書 ※車止め (チェーン内蔵式): 三協立山機「BMB-101UD-EN・BMB-101UUN」同等品

品番	名称	材質
①	ポール本体	ステンレス φ101.6×t1.5
②	チェーン	ステンレス φ4×L=2000
③	チェーンロック	ステンレス t=2.0
④	ガイドカバー	ステンレス t=2.0
⑤	ポールガイド	ABS樹脂
⑥	バリアフーリング	ステンレス t=2.5
⑦	固定プレート	ステンレス t=2.5
⑧	シェル本体	ステンレス φ127×t2.0
⑨	ポール底板	ステンレス t=2.5
⑩	ストッパーピン	ステンレス φ16

チェーンゲート (車止めポール (上下式))

S = 1/20

断面図 S=1/20
断面詳細図 S=1/10

材質仕様書 ※車止め (チェーン内蔵式): 三協立山機「BMB-101UD-EN・BMB-101UUN」同等品

品番	名称	材質
①	アンカー板	ステンレス 15×60×t0.6
②	クッションゴム	NRゴム t=10
③	シェル底板	ステンレス t=4.0
④	ガイドカバー取付ビス	ステンレス M8×20サッシビス
⑤	ポールロック	ステンレス
⑥	取手	ステンレス φ8
⑦	反射テープ	東芝製 幅15mm

メッシュフェンス

S = 1/30

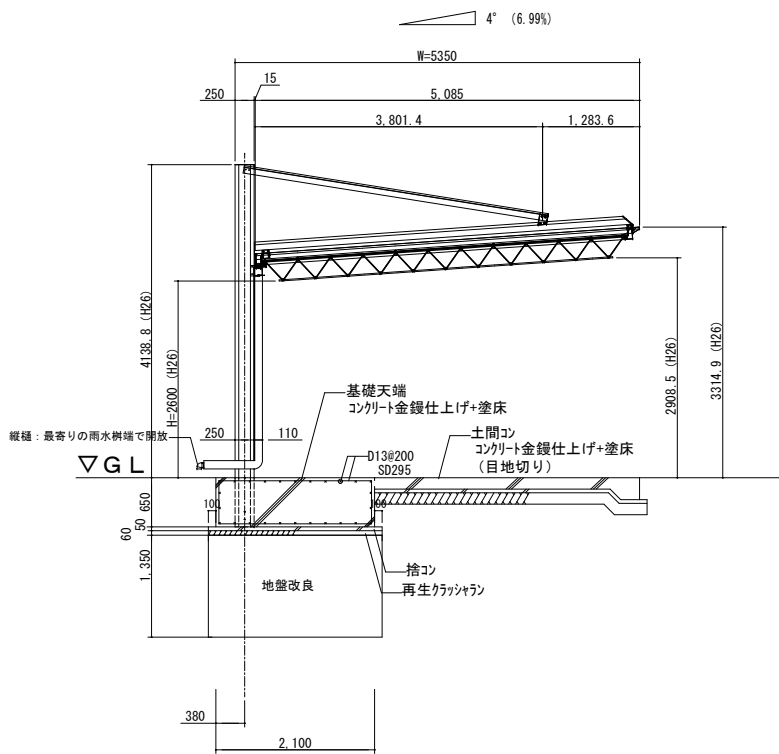
立面図 S=1/30
断面図 S=1/30

ワイヤメッシュ図 S=1/30

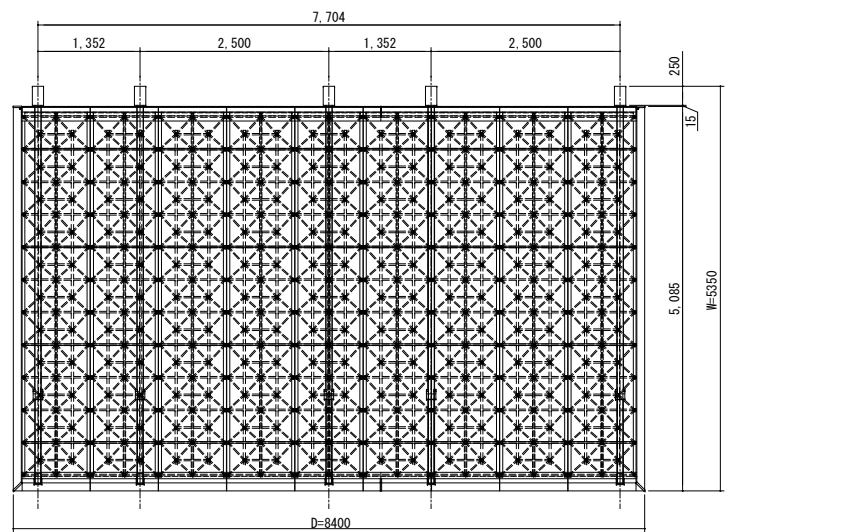
材質仕様書 ※ユニット掲示板: 三協立山機「SPK-1型」同等品

名称	材質
支柱、ジョイント	重鉛・7% Zn合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
押え金具	ステンレス
ワイヤメッシュ	ハイテンション線
バンド	重鉛・7% Zn合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
U型金具	重鉛・7% Zn合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
ボルト、ナット	溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

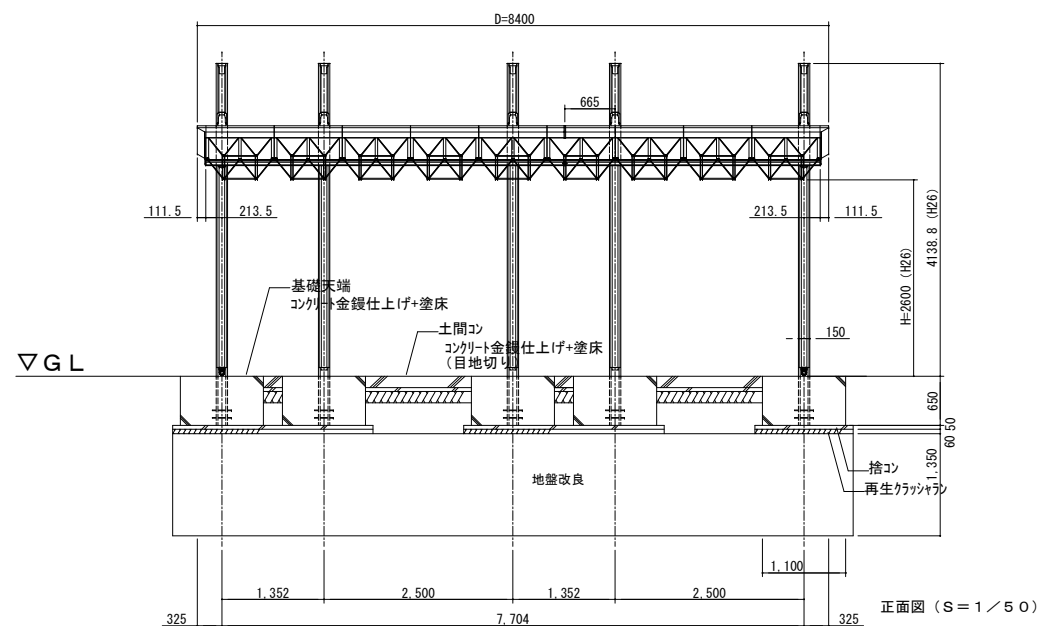
※ 基礎条件: 長期許容地耐力 98N/m² (10t/m²)、地耐力が満たない場合は監督員と協議すること。
※ メッシュフェンス: 朝日スチール工業機「UN-A120OS-50」同等品



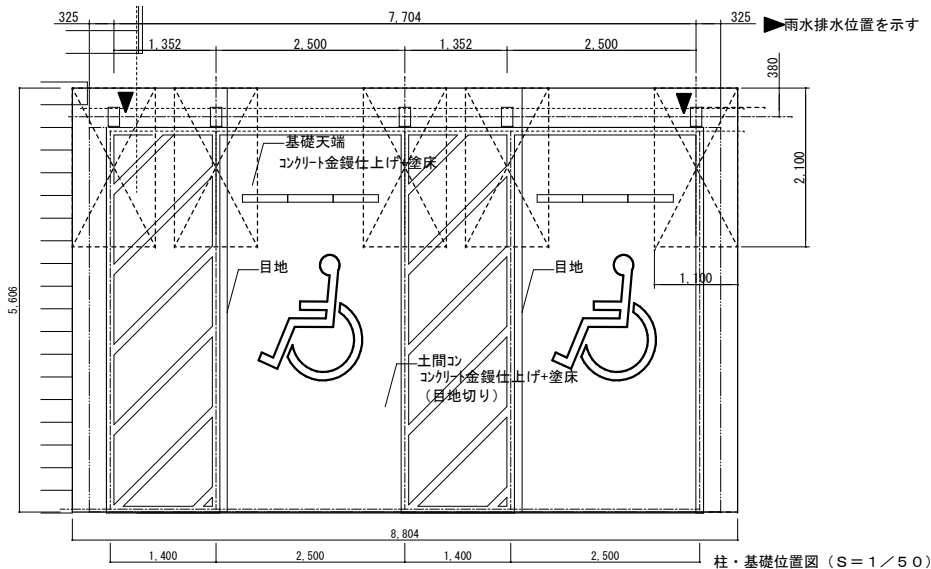
側面図 (S=1/50)



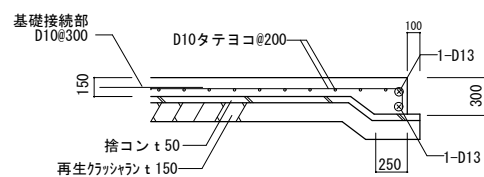
平面図 (S=1/50)



正面図 (S=1/50)



柱・基礎位置図 (S=1/50)



捨コン Fc18N/mm² SL15
 コンクリート強度 Fc21N/mm² SL15
 鉄筋 SD295

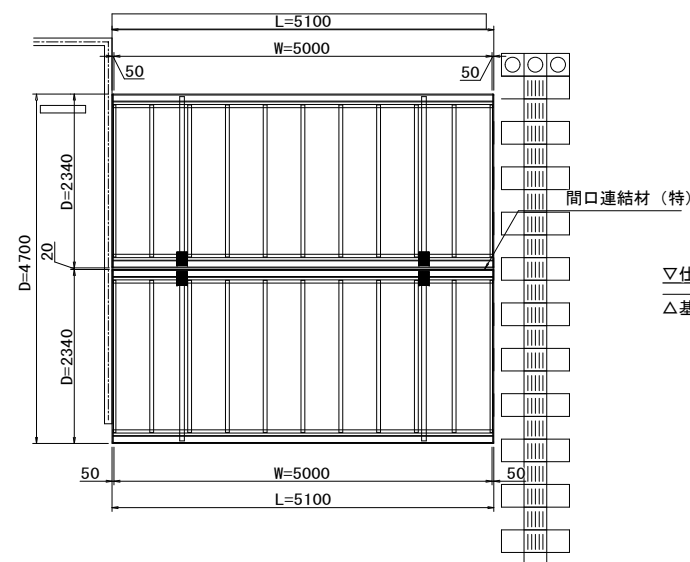
土間コン 配筋図 (S=1/50)

申請建物③ ※カーポート：三協立山牌「M. シェードII」同等品以上

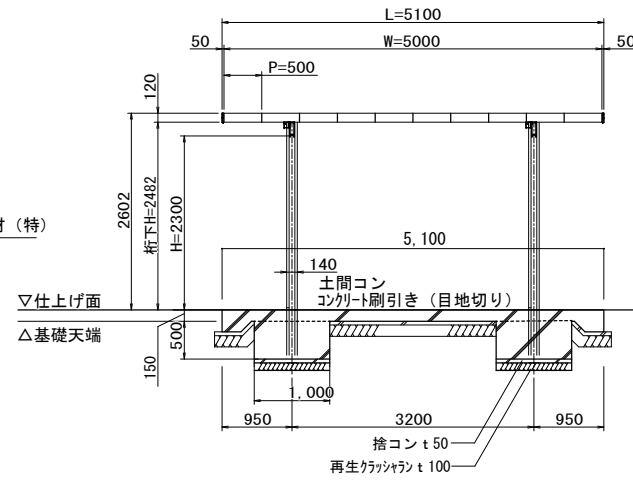
窓番	数量	備考
シリーズ	カーポート	耐積雪荷重：800N/m ²
本体	規格色	上吊りタイプ
色	屋根パネル	基本タイプ
仕	(材質)	熱線遮断FRP板 (DRタイプ) t=2.0 DR9027
上	側面パネル	(材質)
取付		
場所		

※図面表記の基礎は長期耐力50kN/m² (側圧考慮有り) の場合のサイズです。
 現地状況に応じた基礎サイズとして下さい。
 ※塗床：ABC商会 スーパーガード t1.5mm (標準仕様) 同等品以上
 ※車いすマーク・白線ゼブラW100：ABC商会 ラインズマン同等品以上
 (車いすマーク及び白線ゼブラW100 型取り及びスミ出し含む)
 ※地盤改良：表層地盤改良 長期耐力 50kN/m²

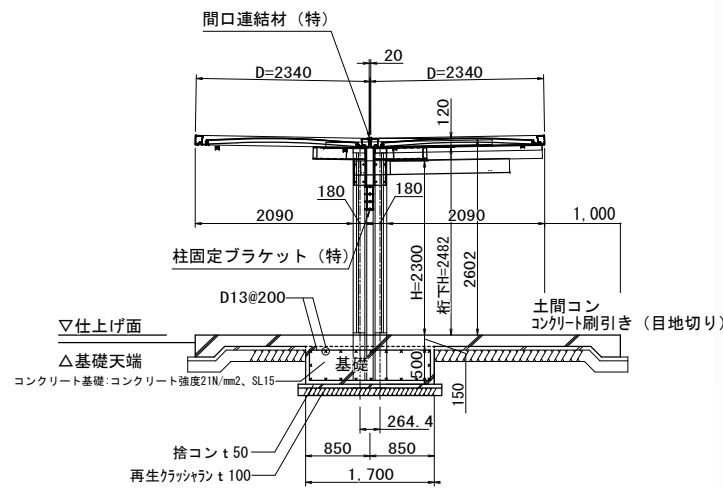
記 号	業務名称	館議公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館議公民館改築 (外構) 工事	設計年月	令和8年5月
	図面名称	カーポート詳細図	図面番号	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-06



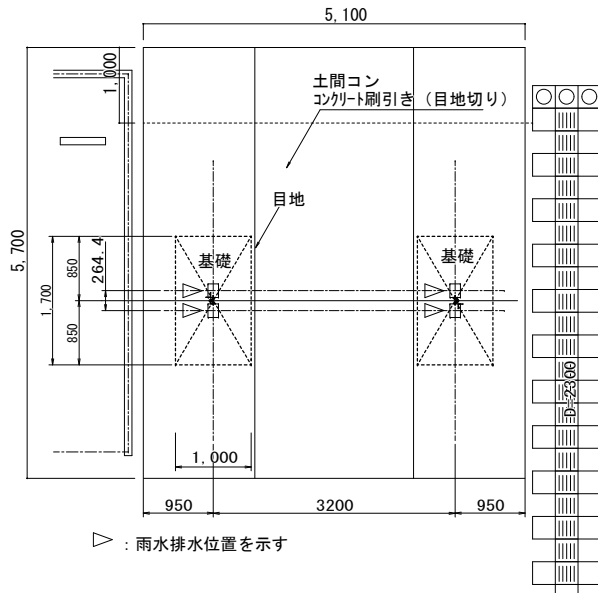
平面図 (S = 1 / 5 0)



立面図 (S = 1 / 5 0)

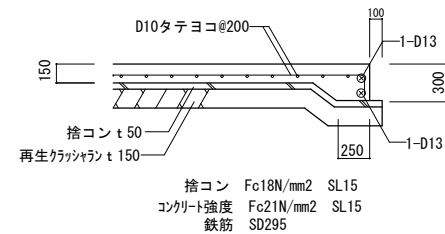


側面図 (S = 1 / 5 0)



柱・基礎位置図 (S = 1 / 5 0)

土間コン 配筋図 (S = 1 / 5 0)

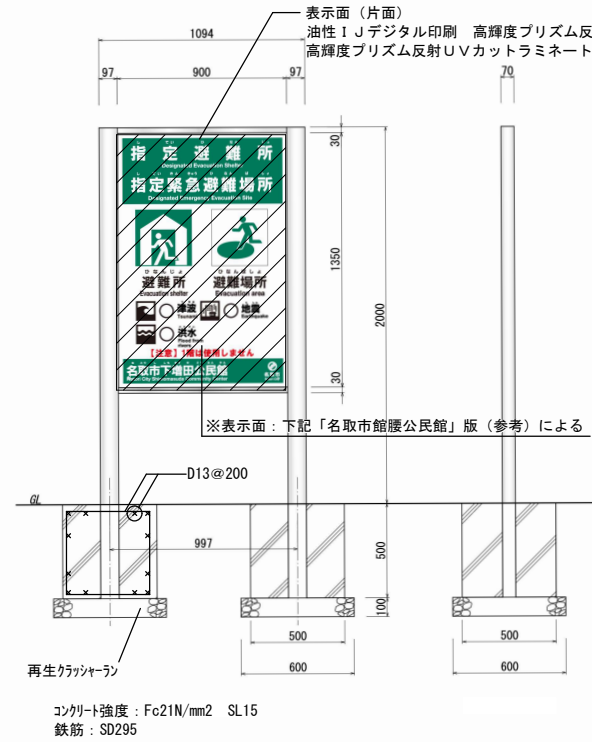


申請建物② ※駐輪場：三協立山㈱「通路シェルター ファイブフォート」同等品以上

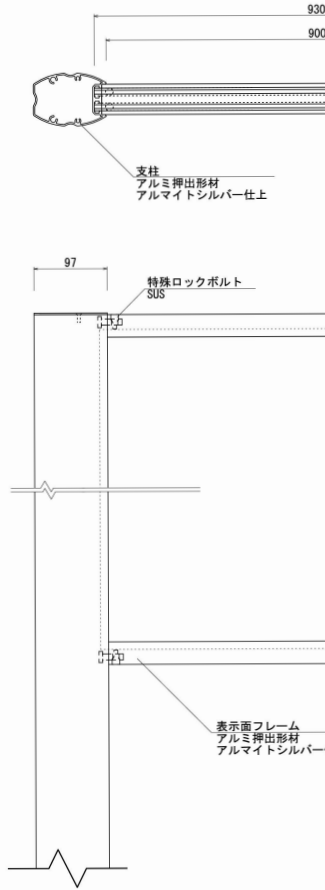
窓番	数量	1	備考
シリーズ			一般地域型
本体	規格色		耐積雪荷重：800N/m ²
屋根パネル	規格色		耐風圧力：830N/m ² (V ₀ =34m/s、地表面粗度区分Ⅲ)
仕上 (材質)	アルミニウム板 t=2.0 (特)		一本柱タイプ
側面パネル (材質)			間口連結材 (特)
取付場所			柱固定ブラケット (特)

業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築 (外構) 工事	設計年月	令和 8 年 5 月
設計者	株式会社 東北線企画	図面名称	駐輪場詳細図・避難所表示看板詳細図	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
一級建築士 (大臣) 第98900号 折原 幸一		図面番号			A-07

平面図 (S = 1 / 4 0)

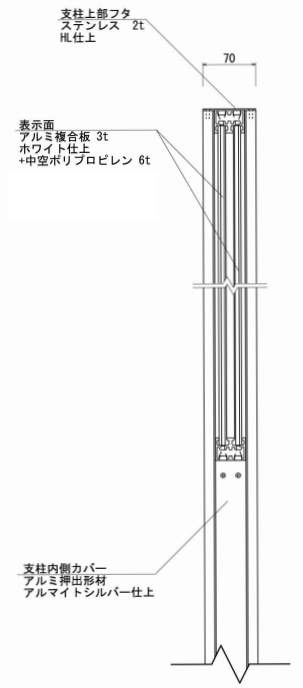


正面図 (S = 1 / 4 0)



正面詳細図 (NO SCAL)

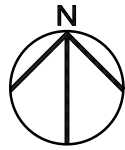
平面詳細図 (NO SCAL)



側面詳細図 (NO SCAL)

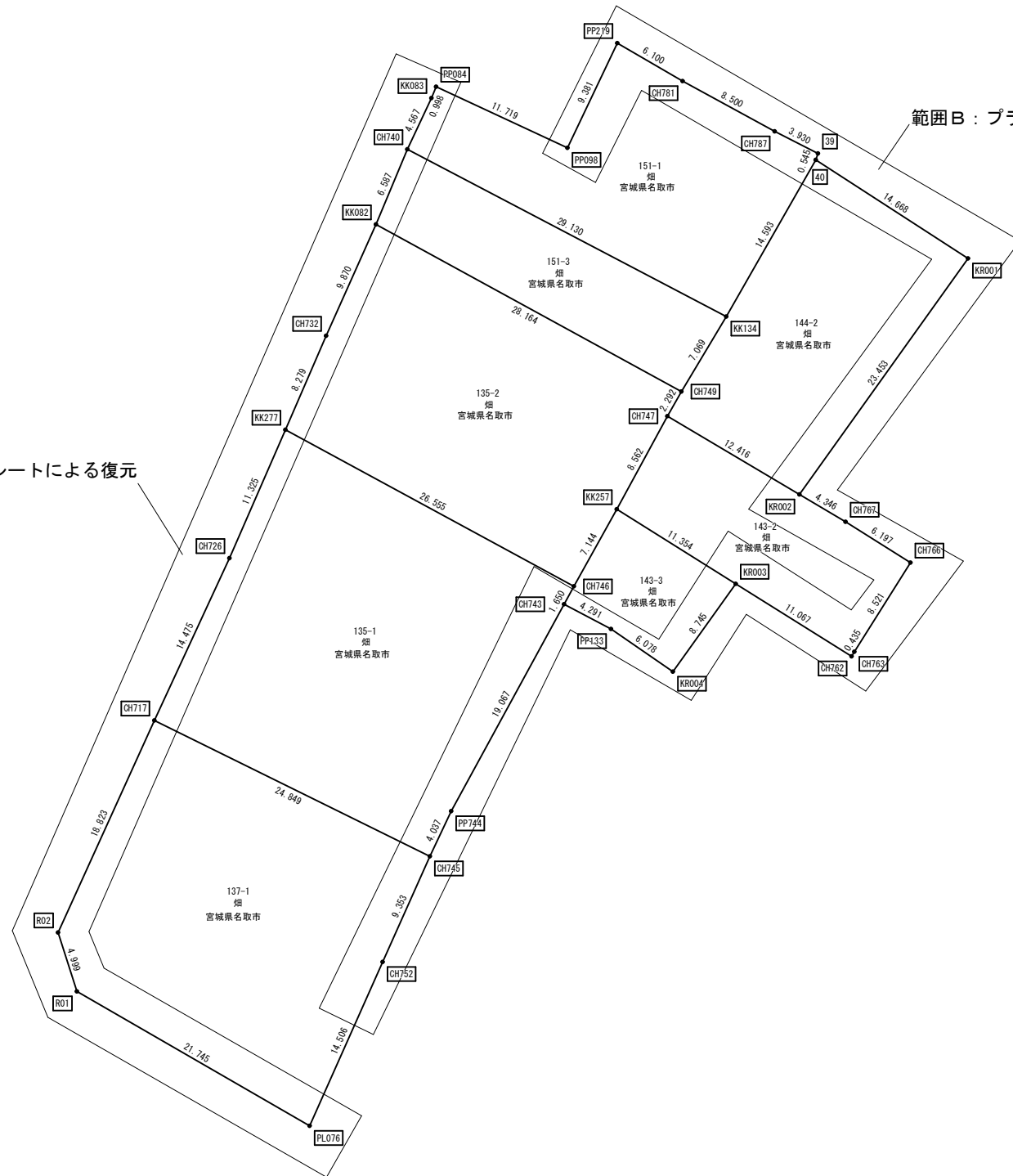
※表示面：「名取市館腰公民館」版 (参考) (詳細は打合せにより決定する)





範囲A：プレートによる復元

範囲B：プラスチック杭による復元



地番 135-1			
測点	X	Y	辺長
KK277	-205366.202	4183.916	26.555
CH746	-205378.870	4207.255	1.650
CH743	-205380.316	4206.460	19.067
PP744	-205397.054	4197.328	4.037
CH745	-205400.703	4195.600	24.849
CH717	-205389.720	4173.309	14.475
CH726	-205376.580	4179.382	11.325
倍面積	-1289.5900030		
面積	644.7950015		

地番 135-2			
測点	X	Y	辺長
KK082	-205349.596	4191.242	28.164
CH749	-205363.111	4215.952	2.292
CH747	-205365.103	4214.818	8.562
KK257	-205372.625	4210.726	7.144
CH746	-205378.870	4207.255	26.555
KK277	-205366.202	4183.916	8.279
CH732	-205358.604	4187.206	9.870
倍面積	-988.352950		
面積	494.1776475		

地番 137-1			
測点	X	Y	辺長
CH717	-205389.720	4173.309	24.849
CH745	-205400.703	4195.600	9.353
CH752	-205409.239	4191.775	14.506
PL076	-205422.493	4185.879	21.745
R01	-205411.618	4167.048	4.999
R02	-205406.857	4165.521	18.823
倍面積	-1135.8148190		
面積	567.9074095		

地番 143-2			
測点	X	Y	辺長
KR002	-205371.428	4225.503	4.346
CH767	-205373.642	4229.243	6.197
CH766	-205376.943	4234.488	8.521
CH763	-205384.159	4229.955	0.435
CH762	-205384.530	4229.727	11.067
KR003	-205378.654	4220.348	11.354
KK257	-205372.625	4210.726	8.562
CH747	-205365.103	4214.818	12.416
倍面積	-400.0488960		
面積	200.0244480		

地番 143-3			
測点	X	Y	辺長
KK257	-205372.625	4210.726	11.354
KR003	-205378.654	4220.348	8.745
KR004	-205385.768	4215.261	6.078
PP133	-205382.318	4210.256	4.291
CH743	-205380.316	4206.460	1.650
CH746	-205378.870	4207.255	7.144
倍面積	-187.0452550		
面積	93.5226275		

地番 144-2			
測点	X	Y	辺長
40	-205344.380	4226.832	14.668
KR001	-205352.351	4239.146	23.453
KR002	-205371.428	4225.503	12.416
CH747	-205365.103	4214.818	2.292
CH749	-205363.111	4215.952	7.069
KK134	-205357.045	4219.582	14.593
倍面積	-639.5128920		
面積	319.7564460		

地番 151-1			
測点	X	Y	辺長
40	-205344.380	4226.832	14.593
KK134	-205357.045	4219.582	29.130
CH740	-205343.518	4193.783	4.567
KK083	-205339.383	4195.724	0.988
PP084	-205338.461	4196.106	11.719
PP098	-205343.403	4206.732	9.381
PP219	-205334.935	4210.770	6.100
CH781	-205338.005	4216.042	8.500
CH787	-205342.070	4223.508	3.930
39	-205343.863	4227.006	0.545
倍面積	-685.2741480		
面積	342.6370740		

地番 151-3			
測点	X	Y	辺長
CH740	-205343.518	4193.783	29.130
KK134	-205357.045	4219.582	7.069
CH749	-205363.111	4215.952	28.164
KK082	-205349.596	4191.242	6.587
倍面積	-390.1287390		
面積	195.0643695		

地番	面積
135-1	644.7950015
135-2	494.1776475
137-1	567.9074095
143-2	200.0244480
143-3	93.5226275
144-2	319.7564460
151-1	342.6370740
151-3	195.0643695
面積	2,857.8850235
地積	2,857.88 m ²

敷地面積 2,857.88 m²

工事項目：用地測量（復元測量）により道路境界杭及び隣地境界杭を復元する
範囲A, Bは施工状況により決定する。
プレート及びプラスチック杭は支給品とする

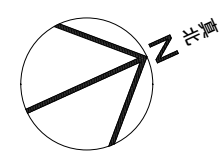
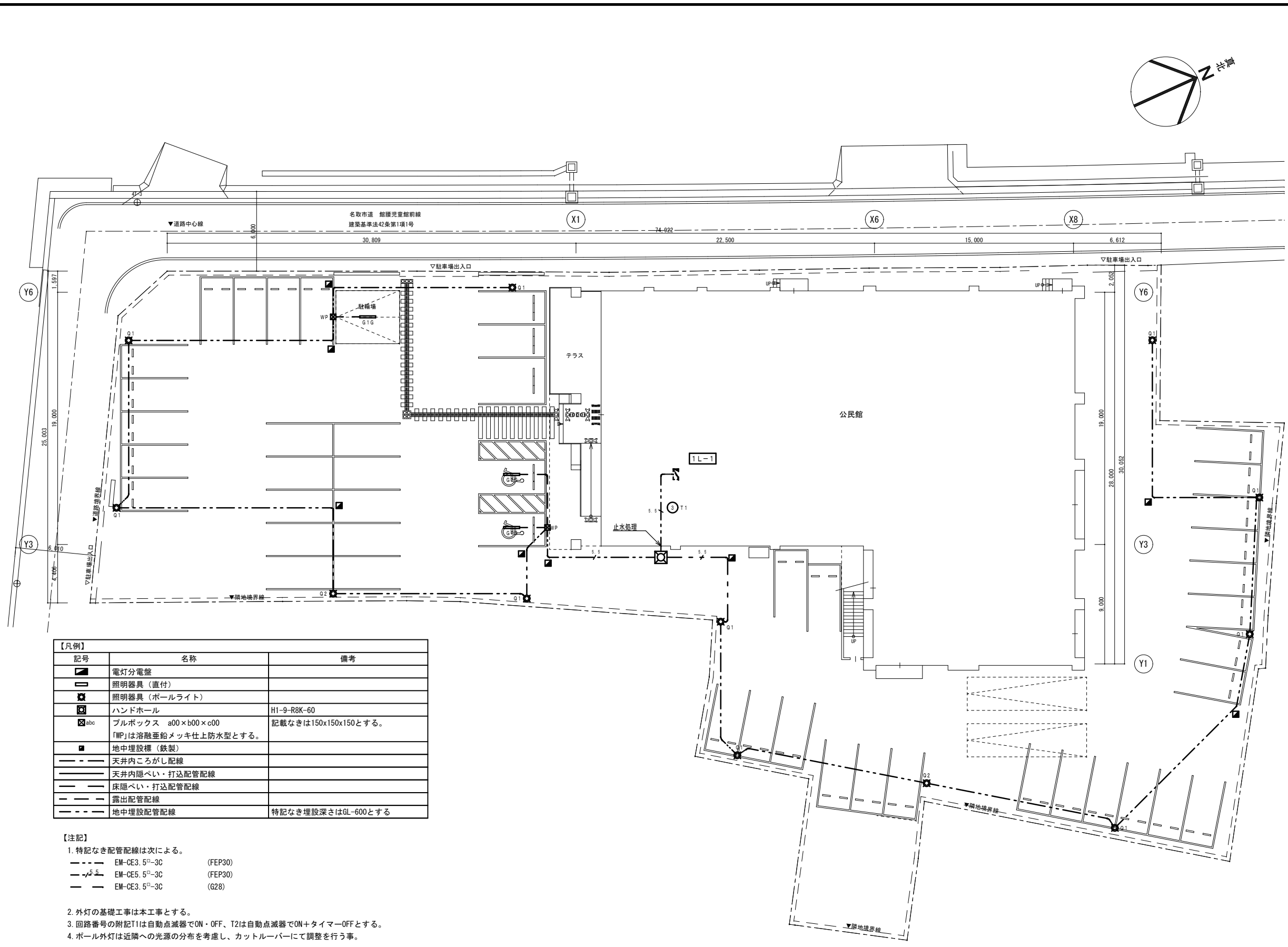
記 事	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築（外構）工事	設計年月	令和8年5月
	設計者	株式会社 東北線企画 一級建築士（大匠）第98900号 折原 幸一	図面名称	敷地面積求積図（境界杭復元図）	縮尺	A1:1/250 A3:1/500
					図面番号	A-08



現況図 1/250

記 号	業務名称	館腰公民館移転改築工事設計業務	工事名称	館腰公民館改築（外構）工事	設計年月	令和8年5月
	図面名称	現況図	図面番号	A-09	縮尺	A1:1/250 A3:1/500

株式会社 東北線企画 一級建築士（大臣）第98900号 折原 幸一



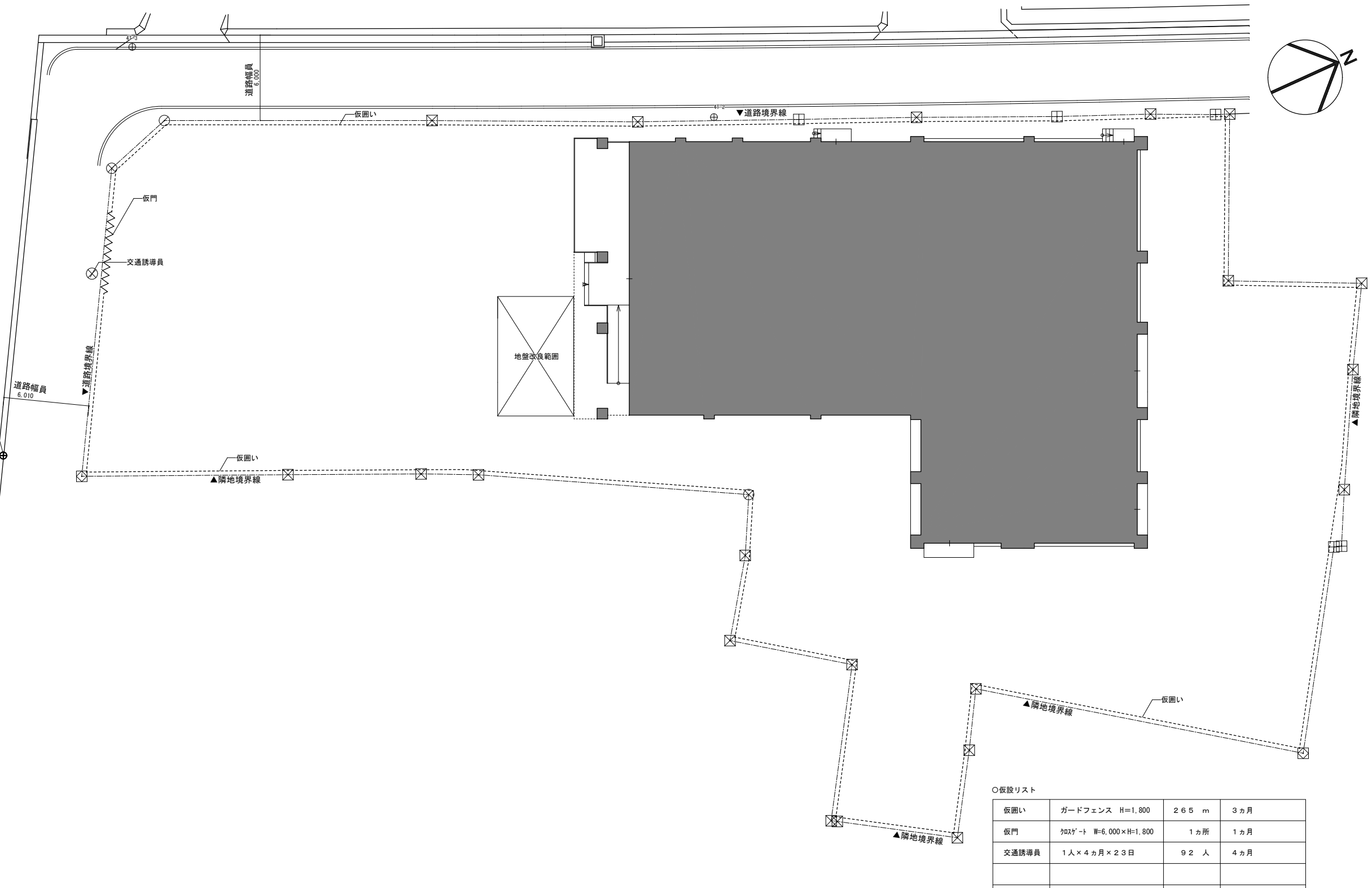
照明器具姿図			
形式	直付型 (防湿・防雨型)	電圧	
記号	G1 G	LEDベースライト・ガード付	公共施設型番 SS1MP/RP-4-22LN
<p>ガード：パナソニック FK41554 相当品</p>			
形式	屋外灯	電圧	
記号	Q1	LED街路灯 250形 (カッターバー付：後方用)	100~242V
<p>電球色、3000K、Ra85、標準タイプ、フロント配光 器具光束4950lm、消費電力61.3W、電圧100~242V 光束維持時間60000時間 (光束維持率85%)、電源ユニット別置 本体：鋼板 (ミディアムグレーメタリック) パネル：ポリカーボネート (透明つや消し) 上方光束比0~5%、耐風速60m/s 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV</p> <p>コンクリート基礎 (本工事)： 500x500x1300 パナソニック XYG1042RLE9 + NYK20021 + DYDX2400H 相当品</p>			
形式	屋外灯	電圧	
記号	Q2	LED街路灯 250形×2 (カッターバー付：側面用)	100~242V
<p>電球色、3000K、Ra85、標準タイプ、フロント配光 器具光束9900lm、消費電力122.6W、電圧100~242V 光束維持時間60000時間 (光束維持率85%)、電源ユニット別置 本体：鋼板 (ミディアムグレーメタリック) パネル：ポリカーボネート (透明つや消し) 上方光束比0~5%、耐風速60m/s 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV</p> <p>コンクリート基礎 (本工事)： 500x500x1300 パナソニック XYG1047RLE9 + NYK20022 x2 + DYDX2400H 相当品</p>			

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
□	照明器具 (直付)	
□	照明器具 (ポールライト)	
□	ハンドホール	H1-9-R8K-60
abc	ブルボックス a00×b00×c00	記載なきは150x150x150とする。
	「WP」は溶融亜鉛メッキ仕上防水型とする。	
■	地中埋設標 (鉄製)	
---	天井内ころがし配線	
---	天井内隠ぺい・打込配管配線	
---	床隠ぺい・打込配管配線	
---	露出配管配線	
---	地中埋設配管配線	特記なき埋設深さはGL-600とする

- 【注記】
- 特記なき配管配線は次による。
 --- EM-CE3.5²-3C (FEP30)
 --- EM-CE5.5²-3C (FEP30)
 --- EM-CE3.5²-3C (G28)
 - 外灯の基礎工事は本工事とする。
 - 回路番号の附記T1は自動点滅器でON・OFF、T2は自動点滅器でON+タイマーOFFとする。
 - ポール外灯は近隣への光源の分布を考慮し、カッターバーにて調整を行う事。

電灯設備外構図 1/150

KBM
H=3.812 =設計GL±0



○仮設リスト

仮囲い	ガードフェンス H=1,800	265 m	3ヵ月
仮門	カスゲート W=6,000×H=1,800	1カ所	1ヵ月
交通誘導員	1人×4ヵ月×23日	92人	4ヵ月

仮設計画図